

危険がいっぱい(?)のプルトニウムを載せて、あかつき丸は行く

ニューズの時局です

DATA

11月7日の午後9時(日本時間では8日午前5時)輸送船あかつき丸(4800t)は日本に持ち帰るプルトニウム(濃度15個)を積み込んで、フランスのシェルブル港を出港した。入港以来わずか16時間という早業だった。帰国日本まで無事港の予定で、ルートは極秘。海上保安庁の護衛艦「しまし」が伴走して警戒にあたる。環境団体グリーンピースは、日本まで同船を阻止するとしている。

今回のプルトニウムは、日本の原子力発電所の使用済み核燃料の再処理(フランスの燃えかす)のなかから、副産物のプルトニウムを取り出すことを、フランスの再処理工場に委託したものである。日本ではこれを、高速増殖炉(原型炉「もんじゅ」が来年運転開始の予定)の燃料として再使用する計画である。

世界各國がプルトニウムの民生利用から手を引き、最後に残ったフランスも高速増殖炉「スーパーフェニックス」の故障続きでどうも撤退。日本だけが突出するカタチになった。あかつき丸が沖合を通過する沿岸の各國も反対を表明。核ジャックや万の事故の恐れなど、日本政府は国際的な非難の面に立たされることになった。国民の真剣な議論が待たれる。

石油に代わるエネルギーのプルトニウムに注目

ごく微量が体内に摂取されただけで、致死量という猛毒の放射性物質プルトニウム。しかも半減期は2万年という気の遠くなるような将来だ。純度の高いプルトニウムがケセラに核ジャックでもされたら、原爆を造るのはとても簡単。いろいろな意味で危険このうえないプルトニウムを、なぜ運ぶる日本に運んでこなければならぬのか?

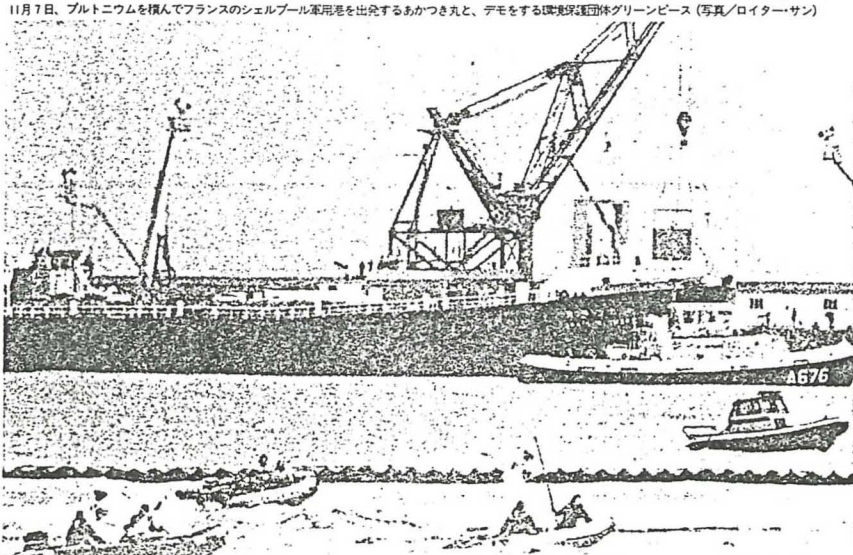
いちばんの理由は、やはり将来のエネルギー問題にある。石油は2000年ほどのもつともいえるが、使い勝手が悪い。石炭と同じで炭酸ガス(温室効果ガス)を出す。つまり化石燃料に頼っているわけにはいかない。太陽エネルギーや風力、地熱も、人類全体の需要をまかなうにはほど遠い。

となると、注目されるのは、炭酸ガスを出さない原子力エネルギーだ。だが、困ったことに、いまつうの原子力が燃やされているウランは、埋蔵量がごくわずかのため、石油と相前後して掘りつくされてしまう。石油の代わりというものは、ちよつと無理だ。核融合エネルギーが利用できれば、資源は無尽蔵なのだが、実用化はまだない。先ず、そこでつなぎとして、燃料を燃やしながら燃料を作る「増殖炉」に頼らうというのが、日本政府の

国際的な理解を得るため、国内で議論を深めるべき

こういふ困難がいろいろある。最初は開発を試みた各國も、次第に手を引いてしまった。日本がプルトニウムにこだわっているのはなぜかという、資源が乏しく、石油もウランもほとんど採れないので、エネルギー

府の考えなのである。どうして燃料が増えるのか? じつは、原子力が燃やせるのは、放射性のウラン235だけ。ウラン鉱石の99%以上が、そのままで核分裂を起こさないウラン238である。ところがうまくいって、ウラン238に中性子(原子核のなかで核燃料が燃えるときに発生する)をぶつけてやると、放射性のプルトニウム239に変化する。これをまた燃料にして、ウラン238と一緒に燃やしてやれば、つぎつぎ燃料が増えていくという仕組みだ。これはうまいみだが、じつはプルトニウムを燃料にする原子力の技術はまだ未完成。炉心の温度が高すぎるため、つうの原子炉みたく水で炉心を冷却するのは無理で、液体ナトリウムを使わなければならない。これが危険な物質だ(水と触れると爆発する)というのがひとつ。もうひとつは、ウランに比べて割高で採算があわないこと。あと、危険なプルトニウムを、原子力が再処理工場の間を何回も運ばなければならないことだ。



11月7日、プルトニウムを積んでフランスのシェルブル港を出発するあかつき丸と、デモをする環境団体グリーンピース(写真/ライター・サン)

自立を要願してきた歴史があるからだ。しかしこれが、国際的な理解を得られるかという、話はまだ別。プルトニウムを密輸して、核兵器開発を狙っているのではないかと、とくなくはならない。核ジャックに気を付けてほしい」というのは、世界共通の要請だ。もうひとつの心配は、事故。プルトニウムは、丈夫な箱に密封してあればよくに危険はないのだが、いったん環境のなかに出てしまえば手の打ちようがない。科学技術庁は、あかつき丸が沈没して容器が壊れ、プルトニウムが海中に放出された場合を想定して、環境への影響を評価し、「人体への悪影響を及ぼす環境汚染はない」としているが、環境保護団体や沿岸の國々は納得していない。公海上を通るのだから、と事前に沿岸諸國の了解を求めなかった日本政府の見通しも甘かったようだ。

外国が干渉しなくても、先走らないことが大切

プルトニウムって、そんなに危険? 「きちんと箱詰めになってれば、それほど危険じゃないらしいけど、箱が壊れたとき問題だ。高温になって容器が溶けちゃうとか、海底に沈んで容器が壊れちゃうとか、」

「中身が出てきちゃいますよ。」

「政府の言っているのは、海の底にプルトニウムが沈んで浮かんでこなければ、当分人間に影響はない、ということですよ。船火事かなかで海中にまき散らされたら、話は別だ。」

「だから、環境団体も通り道にあたる國も神経質になってるんです。」

「でも、政府の同じ者みたいな言い方になりませうけど、やっぱり資源のない日本としては、そのうちなくなるウランに頼

れないなら、プルトニウムも試してみよう、と思っても当然なんじゃないかなあ。」

「そうなんですけど、時期が悪かった。ちよつと論議が終わって、核弾頭をほとんど処分している矢先ですからね。弾頭の中心は濃縮ウランかプルトニウム、わざわざフランスに再処理なんか頼まなくても、それを買い取れば長目でみれば、いすれエネルギー資源は枯渇するんですよ。高速増殖炉を日本が開発したっていいと思っ、それを外国がとやかく言うのは納得できない。」

「ただね、原子力開発は、核兵器と縁が深いので、無断で先走らないという暗黙の国際ルールがある。それに、世界中のウランはアメリカが一手に仕切ってるんですよ。アメリカにあいさつなしというわけにはいかない。」

「ウランとプルトニウムの関係がいまいちわかりにくいので、もう一度、すみません。」

「99%のウランはおとしくて、そのままで燃やれないんですよ。でも少したいて、変な(放射性同位元素)が混じって、核分裂を起こす。このときエネルギーが出るんですよ。おまけにそのとき、おとなしいウランまで、核分裂のときに飛び出す中性子にぶつかってプルトニウムに変わってしまいます。これは分裂するから、原子力が燃やせる。」

「朱に交れば赤なる、ですわ。そうやってウランが全部燃やせば、当分エネルギー

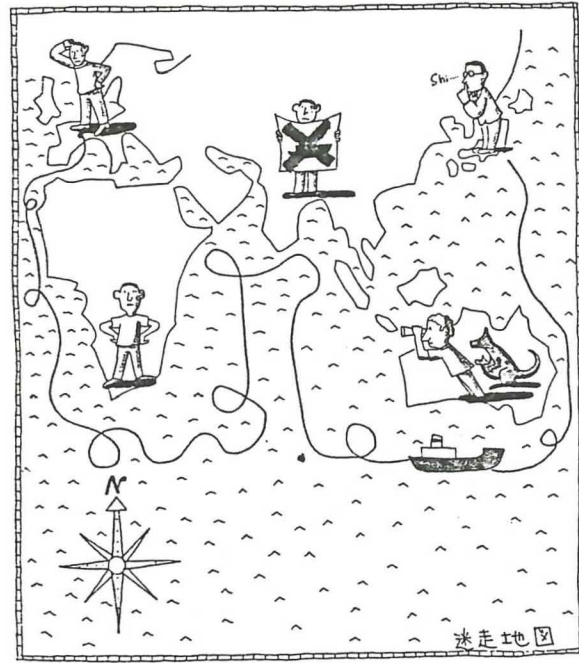
「でも高速増殖炉の技術は、まだ未完成なんです。これまでの原子炉に比べるとずっと危険だ。それに巨額の資金もかかる。各國が二の足を踏むのも当然なんです。」

「その辺のこと、みんなあんまり知りませんよ。原子力の理屈もややこしい。」

「政府も悪いんです。日本人には核アレルギーがあるから、詳しい説明はしないで、原発はとにかく安全、を繰り返してきた。すると付近の住民や広瀬さんなんか、やっぱり危険だと言っ、これでは押し問答の水かけ論です。でもよく考え、99%安全なら、0.1%危険ということですよ。安全と危険はうらはらだ。政府はデータを示して、これだけのコスト(費用や危険)があるけど、これだけメリットがある、どうしましょう、と国民にたずねなければならぬ。」

「放射能と聞くとつい、尻こみしがち。でも最近、化石燃料から出る炭酸ガスの温室効果の問題になっていって、原子力は環境にやさしい、というキャンペーンも目につくようになってきました。」

「あかつき丸はまだ何回復もしますよ。そんなものが原発を通過するから、万一心配しなければならず、気苦労ばかり。外圍の人びとはとんだとばかりです。日本国民も、関心がないと言わす、そういう事実にもっと目を向けてほしい。」



注1) 核融合エネルギー ウラン235のように重い原子が分裂してエネルギーを放出するのを核分裂といい、水素やヘリウムのように軽い原子が衝突して重い原子に変化する反応を核融合という。このとき放出されるエネルギーを「第四の火」と呼ぶこともある。放射線が放射線を出ないという特徴もある半導。核融合は難しく、現在研究中であるが実現は22世紀になりそうだという。

注2) 広瀬 43年東京生まれのノンフィクション作家・評論家。79年から市民グループ「時の会」を率いて原発廃止運動を展開。ベストセラー「チェルノブイリ原発事故の真実」や、「チェルノブイリ原発事故の真実」など、核問題に関する著書が数多くある。現在は「危険な話」など、核問題に関する著書が数多くある。現在は「危険な話」など、核問題に関する著書が数多くある。

注3) 温室効果 大気中のガスが地表から放出される赤外線を吸収して、宇宙空間に逃げるはずの熱を地表に戻すため、地球表面の気温が上昇する現象。石油や石炭を燃やすすときに発生する炭酸ガス(二酸化炭素)は、この温室効果気体の代表的なもの。

緊急ニュース

12月6日、インド北部のアヨディヤに集まったヒンズー教徒とイスラム教徒の抗争が再燃して全国に飛火、死者が100人を越す騒ぎとなった。政府は過激なヒンズー教徒団体等を非合法化した。——事件の背景はなんですか? 「もともと反目しあう両教徒だが、最近ヒンズー教徒の復讐を唱えるインド人民党(BJP)が台頭している。国民会議派に脅かされたくない民衆がこれら支持、下院に119の議席を獲得した。こういう底流が、爆発した。」

——破壊は解決にならないのに、「そのとおり。宗教対立に火がつけばインドは自滅する。だから大部分のヒンズー教徒は冷静だけれど、将来に希望の持たない一部の人が過激派に走って、社会不安をあおってしまった」

はしづめ・だいさぶろう 48年神奈川県生まれ、社会学者、東工大助教授。最近大学は、金庫会議の連続で、おちおち論文も書けません。

JO-CAZ-TV
キャスター

ひらの・ひろし 59年大阪生まれ、政治学者、学習院大学助教授。愛知県立大講師。今年の目標は「3度の食事をきちんと」に決定。

田辺サン辞任の社会党、今度は山花氏。政界再編はまたもや流産!?

「ニュースの時間です」

DATA

一月六日、社会党の次期委員長に山花貞夫氏が就任することが決まった。

昨年十二月二十四日、田辺誠委員長の突然の辞意表明を受け、規定通り立候補を受け付けたが、山花氏のほかに届け出はなかった。田辺氏の推薦を受けた山花氏は候補者を一本化する、事前の調整によるもの。山花氏は、党内では左派に属するが、ポスト冷戦に対応して「憲法の創造的展開をはかる」という「創憲」の立場を掲げている。これに対し、「改革」を宣言案とする若手議員のなかには、独自候補を擁立する動きもあったが、大勢に押し切られた。

田辺委員長の辞任は、佐川事件で疑念の渦中にある金丸氏とのつながりを取りざたされたため。このままでは選挙を戦えないという一般議員の不信も根強く、ぎりぎりの決断となった。

昨年十二月十八日には、自民党羽田派（改革フォーラム21）が国会議員44名を集めて旗揚げし、竹下派は分裂した。羽田派は、政治改革を緊急課題に掲げ、新党結成も視野に入れて活動を行なっていき、としている。これに、江田五月氏らの「シリウス」や、細川護国氏の率いる日本新党もからんで、情勢はますます流動的。日本の政治地図は大きく塗り替わろうとしている。

党内に対立を抱える 社会党のお家の事情

1993年総選挙での167議席をピークに、底なしの「長期低落傾向」(要するに、ジリ貧)を続ける日本社会党。話題にするのもおつろいな、粗大ゴミのオヤジみたいな存在だが、さうも言っていないので、今号はじっくり、社会党と政局のお勉強です。

万年野党の社会党は、現実離れしたイデオロギー政党ということになって、党内に厳しい路線対立を抱えていた。党内に厳しい路線対立を抱えていた。党内に厳しい路線対立を抱えていた。

「改革派」が続々誕生。大連立政権ができる?

戦後民主主義が、いつまでも半人前

「若くて有能な政治家も、もちろんいる。クリントン氏やゴア氏は、堂々と戦って国民に支持されて出てきているのだから本物。実力未知数の赤松氏候補は、やはり唐突だ」

赤松氏は、会議に10分遅刻が当たり前前の「社会党時間」返上を指示したり、若手らしい取り組んで出足は上々のようです。

「今までの社会党が常識外れだったというところ。国会が始まらないと、手振みはわからない。佐川以外に、有利な材料はないし」

宮沢内閣の支持率は10%台に落ちこんだまま、景気も上向き配がない。自民党にもいい材料が見当たりませんねえ。

「皇太子妃が小和田雅子さんに決まって、宮沢首相はひと息ついた。5、6月にも予定されているご成婚までスケジュールがぎっしりで、7月には東京サミットもある。解散は当然なさそう。それまで政権はもちろんだ」

渡辺さんや三塚さんは、どうしていま政権取りに動かないんですか？

「渡辺内閣は健康面の不安を抱えている。三塚氏はそれを横目に、次は自分と踏んでいけるから、あわてて動く。コメの輸入・関税化を認めるとか政治改革とか、やっかいな懸案を宮沢内閣に押しつけ、それが済んだら政権の座に座ろうという腹ではないか」



そらって就任のあいさつをする山花新委員長(右)と、44歳の若き赤松新書記長(左) (写真提供/産経新聞)

だと言われるのは、政権交替が起こらないから。野党、とくに社会党がだらしなから。それなら、与党の自民党がふたつに割れるしかないというのが、保守党論である。

その昔、新自由クラブが自民党を飛び出したが、結局うまくいかなかった。人数が少なすぎたし、若手を中心だったから。保守党と違って、政権のうまみを知っている自民党がふたつに割れるのはむずかしい。

それでもここへ来て、政界の底流に少しずつ変化の兆しが見えている。

まず、政治が足踏みしているあいだに、国民の意識が大きく変革を生じていること。国民はもう、保守/革新(自民/社会)といった枠で政治を考えていないし、護憲だ、安保反対だという社会党のイデオロギーなんか、どうでもいいと思ってる。もつと政策論争をしてほしい。政治資金もルールを決めて公

若し書記長を大抜擢したが、国会が始まるまでは未知数

山花さんは書記長に弱冠44歳の若手、赤松隆氏(愛知6区、当選一回)を選びましたね。意外な人事という気もしますが、

「手あかのついたベテランでは新味がないし、破れかぶれの大将だ。山花氏自身も若手なので、煙たい党内の古顔を嫌ったというのがひとつ。もうひとつは、アメリカ新政権の若手コンビを意識した人気取りだろう」

「若ければいいってもんじゃないと思うけど。

社会党が支持されるには、基礎を浮動層に移すこと

「私、この期におよんで、社会党に党したりする人がいるのが不思議なんです。『そんなことな。私の友人にも社会党員はいる。社会主義の本案はやはり社会党、と思ってるが、少くないの。いつまでも労働組合におんぶしてるから。活動の基礎をさささと主婦やふつうのサラリーマンに移すべきなんだけれど、公明党や共産党の組織力に負けるのが怖くてできない。でも社会党の頼みは浮動層です。怖がらないで、自民党の小選挙区制に賛成すべきだ。土井旋風のときも、参院一人区で完勝したでしょう。自民批判者が社会党に集中したからです」

でも、今の社会党には投票したくないなあ。でも政権を担えようにならない。自民党だって、政策は大部分官僚に頼っているんです。それなり人材を集めれば、社会党でも大丈夫。そこで社会党はぜひ千億選を取り入れ、勝手連、みたいに、選挙区の有権者がこれかと思っ人材を、どしどしつかぎ出せる仕組みを工夫すべきだと思っ」

「社会党って、名前が悪いですよ。『そんなふう看板を変えてもいいころだ。名前だけでなく、政策も見直し、解党して日本新党や社民連と合流すれば、国民は支持すると思っ。冷戦の落とし子、社会党の歴史的使命はとくに終わってるんです。その危機感がないなら、数年以内に社会党は消滅する」

「改革派」が続々誕生。大連立政権ができる?

戦後民主主義が、いつまでも半人前

「若くて有能な政治家も、もちろんいる。クリントン氏やゴア氏は、堂々と戦って国民に支持されて出てきているのだから本物。実力未知数の赤松氏候補は、やはり唐突だ」

赤松氏は、会議に10分遅刻が当たり前前の「社会党時間」返上を指示したり、若手らしい取り組んで出足は上々のようです。

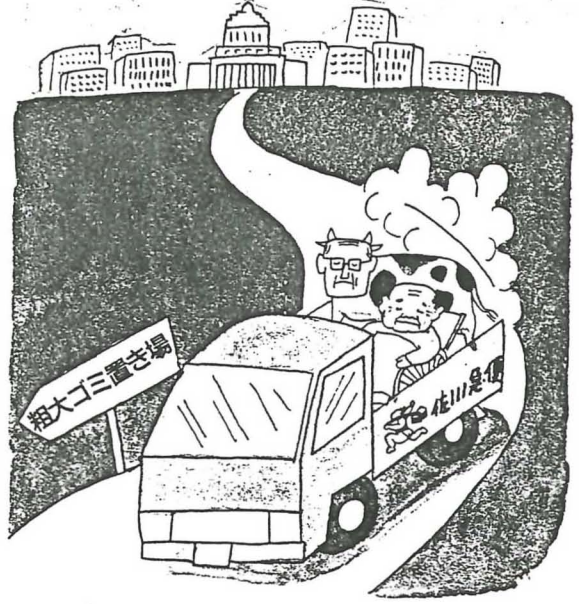
「今までの社会党が常識外れだったというところ。国会が始まらないと、手振みはわからない。佐川以外に、有利な材料はないし」

宮沢内閣の支持率は10%台に落ちこんだまま、景気も上向き配がない。自民党にもいい材料が見当たりませんねえ。

「皇太子妃が小和田雅子さんに決まって、宮沢首相はひと息ついた。5、6月にも予定されているご成婚までスケジュールがぎっしりで、7月には東京サミットもある。解散は当然なさそう。それまで政権はもちろんだ」

渡辺さんや三塚さんは、どうしていま政権取りに動かないんですか？

「渡辺内閣は健康面の不安を抱えている。三塚氏はそれを横目に、次は自分と踏んでいけるから、あわてて動く。コメの輸入・関税化を認めるとか政治改革とか、やっかいな懸案を宮沢内閣に押しつけ、それが済んだら政権の座に座ろうという腹ではないか」



送られても困る荷物

緊急ニュース

1月22日から始まった通常国会は、首相の所信表明演説を受けて25日から各党代表質問が始まった。自民党の三塚政調会長に続いて壇上に立った社会党の山花新委員長。何回も眼鏡を外して顔の汗をぬぐい、終始緊張の様子だったが、演説は迫力に欠けたというのが大方の評価だ。前国会では田辺前委員長が、佐川疑惑に高まった国民の怒りを背に受けて「宮沢首相の退陣まで戦う」とぶちあげたが、年が改まって、国民の関心も薄れざる。そこで「衆院の早期解散」などと無理に対決姿勢を強めないほうが得策、とソフト路線にトーンダウンしたとみられる。

こうした風向きの変化に、宮沢首相も当面の政局乗り切り自信を深めている。三塚氏が「積極的に改選論議をすべきだ」と野党協議機関の設置を求めたのに対し、ハト派で知られる宮沢首相はやりわりと拒否。山花委員長や公明党の石田委員長も、とうてい応じられないとこれを後押しするかたちになっている。今後の政局は、野党の面目も立つ佐川問題にどうけりをつけ、予算案の実質審議に早く入るか、という景気対策が焦点となってきた。

はしづめ・だいさぶろう 48 年神奈川生まれ。社会学者。東工大助教授。足利市で国際問題について講演しました

JO-CAZ-TV
キャスター

ひらの・ひろし 59年大阪生まれ。政治学者。学習院大大学院修了。愛知県立大講師。TVを見ては知る権利とプライバシーの問題を考える毎日

移植したくても、臓器が足りない！ 今こそ脳死と臓器移植を考えよう

「ニュースの時間です」 61

DATA

「骨髄バンク」によるはじめての移植手術が1月28日、宮城県の病院で行なわれた。提供を受けたのは、急性リンパ性白血病と診断された小学生。提供者（ドナー）は、栃木県内に住む36歳の会社員で、術後の経過は順調という。

わが国では年間5000人が白血病と診断されるが、白血球以外の、白血球の型（HLA）が互いに一致する確率は500〜数万人に1人と、われどドナーを捜すのがむずかしい。でも、移植手術を受ければ生存率が高いため、ドナーの登録が急がれている。現在バンクに登録しているのは、全国でわずか1万6000人ほどである。

いっぽう、移植先進国であるアメリカでは、移植用の臓器の不足が深刻化している。そのため、昨年6月には、ピッツバーグ大学で世界で初めて、ヒトの肝臓移植手術が行なわれた。患者は、B型肝炎に感染して、脳死肝臓の移植を受けたことがありますが、やむを得ず移植に臨んだ患者で、術後71日目に死んでいる。

混迷する脳死論議に、移植を受けられないわが国の患者のなかには、国外で手術を受ける例も増えている。脳死と臓器移植をめぐるコンセンサスを、一刻も早く得るべき段階にきた。

● 脳が死んだら、それは人の死といえるのか？

脳死と臓器移植とは、いさおう別の問題。けれども、心臓の動きに、生きるのに欠かせない臓器を取り出してしまえば、その人間は死んでしまう。だからふたつは微妙にからまっている。①脳死の人の死であるとするか、または、②臓器移植の人から臓器を取り出して、もいこにする。このどちらかでない、心臓の移植は不可能なのだ。

臓器移植の話はあと回しにして、最初に脳死の話をお話しておこう。

昔の人間は、それこそ「こ切れる」ように死んだが、今は医学が進歩して、心臓の病入を何カ月も生かしておける。すると、まだ生きていけるはずなのに脳が活動が停止してしまふ、いわゆる「脳死」状態が観察されるようになった。脳死を、意識はなくとも脳が活動して生きて続けることのできる「植物状態」と混同してはならない。脳死の場合、どんなに生命維持装置を使っても、脳がまもなくどうに溶けてしまふ。数日以内に確実に死んでしまう。これを「人の死」と認めるかどうか、脳死問題だ。

伝統的な死の判定基準は「三徴候（心臓停止、呼吸停止、瞳孔散大）だった。これを臨時脳死及び臓器移植調査会（いわゆる脳死臨調）の多数意見は、脳死に変えよう」と提言している。

ている。これに対し、臓器移植を目的とした危険な動きだ、脳死の判定法が絶対といえない、などの批判の声があがっている。

脳死の判定は、外国のやり方を参考に厚生省が決めた「竹内基準」を使うことになっている。そのポイントは、脳幹（脳の中心部）のあちこちを刺激しても反応がなく、脳波もまったく出ない、それが6時間続くこと。それなら脳は死んでいるはず、というわけだ。

脳が死んだら、それは死だろうか？

ここで話は、一歩に哲学的になる。まず落ち着いて、深呼吸。スーハー。それから以下を、じっくり読んで考えよう。

自分の死についてなら「脳死」で済まわれない、と私は思う。自分の死について、自分がなくなっちゃうことなんだ、この世から。このことは、考えるたびに目かくらむような気がするけれど、それが死。そして自分の精神は、脳の活動に支えられているなら、脳がダメになった時点で、自分はいなくなつた（死んだ）と考えていい。

これで、死ぬ本人はいいでしょう。でも問題は、死が他人にとっても大事な出来事だということ。そして、他人には脳でなく、体の死も大切だということ。



公的骨髄バンク「骨髄移植推進財団」初の骨髄移植手術後、記者会見する財団理事長、高久史郎氏（左）（写真提供/産経新聞）

りそのことが重要なのだ。

心臓の患者をとり囲む肉親にしてみれば、体が温かく心臓も動いているのに「死んでいゝ」なんて納得できないとしても無理はない。社会理念が脳死を受けつけないわけだ。

自分の死（脳死）と、他人が理解できる死（体の死。これが、くい違ふところに、死の問題を多めるむずかしさがある。

● 脳死論議は、臓器移植を認めるべき、という姿勢

ところで、肉体と魂を区別するキリスト教の伝統に立つアメリカは、脳死を人の死と考えることにあまり躊躇がない。医師も臓器移植にことのはか熱心で、心臓移植など日常茶飯事である。

国境を越えた臓器のやりとりも行なわれていて、昔はアメリカでもまだ臓器が余っていた。

たので、日本は81年から5年間に、百数十の腎臓の提供を受けた。でも、だんだん足りなくなつた86年に、ついに断られてしまった。ヨーロッパにはオランダを中心にユーロトランスプラントという組織があり、これまでに腎臓3万5000、心臓5000、肝臓5000、角膜1万、膵臓1000を斡旋してきた。

臓器移植は鮮度が大切なので、ドナーは死体より脳死のほうが望ましい。しかし日本では、まだ脳死論議が始まらばかり。待ちきれない患者は、海外に目を向ける。生きたい、という患者の願いは当然なのだが、数が多くなる、日本人は外国から臓器をもらうばかりで、是非難されることになる。脳死臨調が結成を急いだのも、そのあたりを意識してのことだった。

臓器移植は、微妙でむずかしい問題だが、脳死臨調は「移植以外に救うことができない患者があり、進んで臓器を提供しようという人がある限り、それを認めてゆくべきだ」という基本姿勢を打ち出した。ほんとうなら、人間の体を傷つける移植よりも、人工臓器が利用できればいい。人工臓器が利用できるばいばいだが、実用化はまだ先の話となると、当分は移植に頼らざるをえない。

● 日本ではなぜダメなの？ 体と人格が分離されていない

い。難病をかかえる患者のために、国民の真剣な議論が大切である。

「大腸骨なんかでかなり作られるらしいですよ。その髄の部分を取り出して患者に移植。正常な白血球を作らせる。でもこの白血球はドナーのものだから、患者の体を異物とみなして攻撃してしまふ。だから、白血球の型がよほどよく似てないとイケない。」

話は変わりますが、私個人は脳死II死でいい。肝臓や心臓を登録するつもり。どんな世の中のために役に立ってもらいたい。「死」という言葉を含む法令は、全部で633もあるという。それを全部脳死に読みかえるのは、死亡時刻のこともあり、大変。

臓器とひと口に言いますが、ひとつしかなくて、機能が失われれば生命にかかわるのは、心臓、肝臓、あと腎臓くらい。心臓はポンプだから、将来人工心臓に置きかわるかもしれないけど、肝臓はだめだらうなあ。腎臓ならば左右2個あるから、ドナーも見つけやすいし、人工透析という方法もあるんです。

アメリカでは臓器不足だそうですが、

「交通事故や犯罪の多発で、もともと脳死者が多かった。医療が発達した国でない、脳死は増えない。今は移植医療も普及して、完全に順番待ちの状態。そこへ日本人が割り込むかたにならざるを得ない。で、脳死の問題ぐらいいさささと解決しろ、と言われてる。」

一日も早く、臓器移植が可能になつてほしい。日本の場合、本人が角膜の移植や解剖用の献体を生前に希望していても、家族の反対でだめになるケースが多いんですよ。本人の意思がまるで尊重されていない。

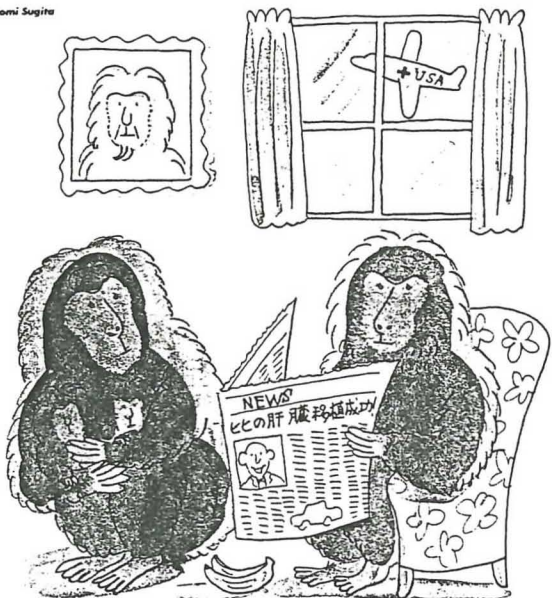
「権利の觀念が確立してないんだと思ふ。その人の体はその人のものです。脳死になろうと、死んだらどうしよう」と

「それと、肉親の死傷を傷つけてほしくない、という気持ちが遺族に強いみたいですね。『感覚が原始的なんだ。明治時代には、牛乳を飲むと牛になるとか、写真に魂を吸われるとか、いろいろな迷信があった。日本人の場合、体と人格があまり分離してない。体を傷つけられると、その人まで傷つけられたという感じになつた。こんなこと、何の根拠もないんです。五体満足でない、困る。みたいなことを言ふ人がよくいますが、そういう感覚が障害者に対する差別の温床にもなるんじゃないかな。現代の高度な医療（輸血や臓器移植）の恩恵を受けようと思えば、素朴な感覚も改めないとだめなんです。」

はしづめ・だいさぶろう 48 年神奈川県生まれ、社会学者。東工大助教授。2月中旬に、中国の天津社会科学学院を訪ねてきました。

ひらの・ひろし 59年大阪生まれ。政治学者。学習院大大学院終了。愛知県立大講師。先日、渋谷を左右違った靴で歩いてしまったのは私です。

Illustration by Hiromi Sugita



悪い知らせ

注①植物状態 脳死状態とはちがひ、脳は生きていて自発呼吸が可能だが、移動や食事や排泄が自力では不可能。目での動きも通っても対象の認識ができない。食物の消化吸収、呼吸、血液循環などは正常に近い状態ではあるが、意識はない。この状態が3カ月以上続くことを植物状態という。

注②人工臓器 生体臓器の代わりに、失われた機能の代行、補助を行なう。現在、研究開発されているのは人工腎臓、人工心臓、人工肝臓など。しかし、生体臓器と同じように、生体情報の計測、神経や内分泌を通じて情報や他臓器にフィードバックする情報処理、制御、治療制御などが一体となったシステムでなければならぬ。そのうえ、拒否反応を起こさないための生体適合性をも追求しなければならず、完全な人工臓器の開発は困難。

緊急ニュース

緊急ニュースというわけではないけれど、本文で触れられなかった臓器移植の最新情報について、もう少し説明しておこう。

臓器移植が有力な治療法として見直されるようになったのは、免疫抑制剤によって、拒絶反応をコントロールできるようになったから。10年ほど前、シクロスポリンという強力な薬が使えるようになった。最近、その百倍も強力なFK506を、日本の藤沢薬品が開発。ピッツバーグ大学のスター博士らヒト臓器移植チームが使ったのも、この薬である。

日本医学は、免疫の研究や医療技術で世界のトップレベルにあるが、国内では移植手術がでない。そこで、移植医療を研究するには海外に留学するしかない。ピッツバーグ大学のスター博士のもとにも、日本人医師が大勢いる。ヒトの肝臓移植手術をしたのは、「チームの藤沢博士だった。」

いっぽう、臓器の不足を補うため、アメリカのDNX社は、ブタに人間の遺伝子を組み込んだ「ヒトブタ」を開発中だという。これなら、ブタの臓器を移植しても拒絶反応が起らないという仕組み。移植医療が海外では、盲腸の手術みたいにもう当たり前になろうとしている。

キム ヨン サム

金泳三新大統領が誕生して、韓国は生まれ変わるの? 「ニュースの時間です」63

DATA

2月25日、金泳三氏(65)が第14代(7人目の)韓国大統領に就任した。軍のクーデターによって朴正熙政権が成立して以来、軍がいつに32年ぶりに文民政権の誕生である。就任式が行なわれたソウルの国会議事堂前広場には、盧泰愚前大統領、全斗煥元大統領も姿を見せた。

金大統領は就任演説で、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の金日成主席に対して、「本当に祖国の統一を願うのなら、いつでもどこでも会える」と会談を呼びかける。国内問題として、①不正腐敗の追放、②経済発展の促進、③法秩序の確立の3つを緊急課題に掲げた。世論調査でも韓国国民の金大統領に対する期待は高く、今後5年間、韓国の舵取りをする金泳三氏の手腕に注目が集まっている。

翌26日、金大統領は、閣僚など主要27ポストの人事を公表。国家安全企画部(安全部)長に金憲、韓国外務次官に副首相兼統一院長官に韓完相、ソウル大教授、外相に韓昇洲・高麗大教授と、有力閣僚に学者、アレンを配したのが目立った。女性閣僚も人と思いついた布陣、与党自民党からは7人がポストを占めた。27日には大統領一族の資産を公開、腐敗に厳しい国民の目にもリリークを印象づけている。

●金政権最大の課題は「韓国病」の病根を断つこと

金大中氏と同様に、長年野党のリーダーとして軍人政権と戦ってきた金泳三氏が、90年に与党の盧泰愚大統領と手を結び、民自党を結成した時は、韓国国民は驚いた。しかし、金泳三氏には、時代の流れを読み切る冷静な計算があったに違いない。前回の大統領選で野党の統一に失敗した金氏は、併せて与党を上回る票を集めながら、盧泰愚候補のまゝに敗れた。この盧大統領は、北方外交を成功させ、ソ連、中国と国交を樹立、国連への南北同時加盟を実現させた。冷戦も、韓国内の野党対決の時代も、過去のものになろうとしている。経済発展に自信を深めている韓国の新中間層が、現実的な自分の選択を支持してくるであろう。金泳三氏はそう考えた。反対に、与野党対決時代の発想から抜け出せなかった金大中氏は、政治の舞台から去って行った。

金泳三氏は、1954年に26歳の若さで国会議員に初当選して以来、最多の当選記録を誇る老練な政治家である。が、政府の要職に就いたことはなく、政治手腕は未知数。韓国病」といわれる数々の病根を断ち切り、韓国を新しい発展の軌道に乗せることができるのか、予断を許さない。

韓国の病根のまず第一は、構造的な腐敗。企業と官僚・政治家の癒着である。これは長年、独裁的な軍事政権のもとで急速な経済発展をはかってきたことのツケともいえるべきもの。発展途上国によくある「開発独裁」と、共通した病根である。

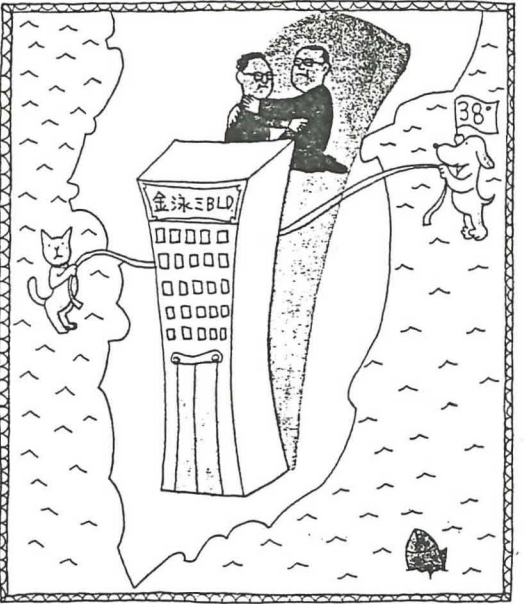
60年代から70年代、まだ経済が弱体だった韓国は、政府が経済を直接管理する方法をとった。戦時体制下で、戦後復興期の日本を想像するとよい。こうして限られた資源や資金を有効に配分し、経済発展をなしたわけだが、半面これが、企業と官僚の腐れ縁ともよべる腐敗体質を生んだ。全斗煥政権がこうした腐敗を厳しく追及されたのは記憶に新しい。盧泰愚大統領が金泳三氏を後継者に選んだのは、長年野党にあった彼なら、こうした不正腐敗と無縁であろうと、見込んだからである。

金大統領は、会社の設立に3年もかかるなど、度過ぎた政府の規制を緩和し、「自由と競争」の市場経済へ移行すると宣言した。そして国民に、忍耐と努力を呼びかけた。

第二の病根は、労働紛争と賃上げ。国民の勤労意欲の喪失が国際競争力が失われつつあると、いわれる「韓国病」だ。

数年前まで年率5%以上の経済成長を誇った韓国経済も、日本と同様にバブルが崩壊して景気の落ち込みが激しい。しかも金利がきわめて高く、企業の投資意欲も外国からの新規

2月25日、約30,000人の高賓・ゲストの前で、大統領就任式に臨む金泳三氏(写真提供/ロイター・サー)



もっと光を……

●北朝鮮の突然の崩壊も金政権の心配のタネに

もうひとつの懸念は、南北統一問題。歴代政権は「北の脅威」を強調したが、金大統領は「北の突然の崩壊」を心配している。東ドイツのように北朝鮮の政権が倒れた場合、多量の難民が北への経済援助で、韓国経済は参ってしまおう。基礎体力の面で西ドイツに遠く及ばない韓国にとって、これは悪夢だ。

そこで皮なごただが、韓国にとつては北朝鮮の現体制が当面もたえてくれることが望ましい。そして徐々に、中国のような

改革開放政策が進み、経済発展の面でも社会体制の面でも、韓国と差が縮まった段階で、統一に向けた具体的な手を打ってきたい。これが本音ではないだろうか。

金大統領は、駐留米軍が引き続き韓国に留まるよう、アメリカに要請した。関係にも、アメリカにパイプをもっている人材を抜擢した。北朝鮮の核開発疑惑に対しては、断固たる姿勢を貫くとしている。朝鮮半島の安定に対しては、日本も米中韓三国と連絡を取り合って、慎重に対応する必要があると、うたう。

●韓国のために日本は何を? 韓国問題に興味を持つこと

これだけ南北に差がつくと、北朝鮮国民も金日成を見捨て、政変が起こるのでは? 「いや、東ドイツと違って西側の情報がTVで見られるわけではない。国民はまだ政府の言うことを呑み込んでいる段階。政変があるとしても、側近の起す宮廷革命だろう。」

「金日成死去前後の混乱をねらって、金正日を逮捕。アメリカとの関係改善を叫ぶ。これが失敗して内戦になったら、かなり危険だ。」

「とばかりが日本に及びやうです。ねえ。」「とはつち、はい。もともとは38度線が南北が分断されたのも、日本が降伏して権力の空白が生まれたから。日本のまた一種だ。」

「統一のため、日本になにかできることはないんですか?」

「北朝鮮を孤立させず、だが調節がかせず、うまく国際社会復讐へのロケットを放つてやる必要がある。カギは中国とロシアだ。アメリカとよく相談しながら、両国との友好関係を深めていく。統一のあかつきには、北の社会資本を充実させるため巨額の投資が必要になるから、日本が率先して外国を説得し、長期ローンの勧進元になる覚悟も必要だ。」

「けつこうな出費になるなあ。」

「長い目で見て、朝鮮半島の安定は日本の利益にもなる。それくらいのことはいらないと。」

「ところで、韓国の対日感情はよくないです。私は韓国人の友達がいるし、若い世代なら、たぶん、韓国のことを知らない人が多くても、韓国を悪く知ることが多い。韓国が悪い人たちは、過去の事を習って、その事実を日本の若者がどう考えているか知りたいんです。でも日本人は過去の事実を知らず、きょとんとしている。これでは友好にならない。国レベルでも同じことです。」

「日本の歴史教育が悪いんです。」

「さうだけど、他人のせいにしてはかたない。政府が教えずに、自分で知ればよい。」

「韓国問題にかぎらず、日本のマスコミの情報は、ハンバグやカレーライスみたいに、口あたりのいい定食ばかりだから、いつの間にか頭が脂肪太りになってしまおう。シェイプアップのためには、若い人も積極的に、たまにはマスコミがあまり伝えない情報に手を出したり、本を読んだりするのでも大切だ。」

「金泳三大統領は演説で、アメリカ軍に引き続き韓国駐留を要請しました。北がいまさら攻めて来るとも思えないのに。」

「韓国は長年、軍内の派閥(ハナ会)に牛耳られてきた。文民政権の金大統領は、これを切り崩さないといけない。3月8日には金塚水参謀総長ほかを更迭、間違ってもクーデターなど起こさぬよう軍部刷新を進めている。米軍がいてくれるほうが、韓国軍に依存せずに、都合がいい。金政権はデモクラシーだから、そこをアピールすれば、緊縮財政のクリントン政権も見捨てられない。」

「北朝鮮は核疑惑が取りざたされてます。核兵器があるのではないかと、いう疑惑を、北にとっては大事な交渉カード。南の韓国も、だから米軍にいてほしいと要求できる。南北統一の日まで、アメリカ軍の韓国駐留は絶対に必要なんです。」

「金政権は、出だしから閣僚を更迭するなどつまづいてしまいましたね。」

「新鮮味をねらいつつ調査が足りなかったのと、国民の期待が高いせいです。」

注① 国家安全企画部(安全部)
韓国の大統領直屬の情報機関。61年に軍事政権の情報機関として発足したKCIA(中央情報部)が母体。海外や北朝鮮情報の収集・分析、国内の反政府勢力に対する取り締まりなどに、強力な権限をもった。が、全斗煥政権後は、その権限、陣容も大きく縮小された。

注② 民自党
90年1月、盧泰愚政権の少数与党だった民主正義党と、金泳三率いる統一民主主義党の合併で発足した。5月に正式発足した「民主自由党」のこと。これによって、国会の3分の2議席を上回る巨大与党が出現した。しかし、選挙によらない巨大与党には批判もあり、盧政権の経済政策に対する不満も重なり、92年3月の総選挙では過半数を得る大敗を喫した。

緊急ニュース

3月12日、北朝鮮が核拡散防止条約(NPT)から突然脱退を宣言した。米韓共同の軍事演習「チームスピリット」の再開と国際原子力機関(IAEA)の査察強行に反発したものと。北朝鮮は、平壤の北方、寧辺(ヨンピョン)の原子炉で86年から90年までの間に、原爆3、4個を製造できるプルトニウムを抽出したとみられている。脱退が発効する3カ月後からは、原子炉の運転再開を阻止できなくなる。

アメリカをはじめ各国は、北朝鮮の強硬な姿勢に核開発の疑念を深め、対応を協議中。民主党議員から北朝鮮の爆撃を求めた声まであがる一方、脱退は譲歩を引き出せようとする戦略にすぎないとの冷静な見方も広まっている。

脱退宣言直後は臨戦体制をしき、一触即発の緊張感かみなぎった北朝鮮国内も、3月18日朝から国境の警備が緩和されるなど、落ち着きを取り戻した。この間、アメリカは北京で北朝鮮側と接触。脱退宣言の再考をうながしたが報じられており、水面下での駆け引きが今後とも続くものと思われる。

はしづめ・だいさぶろう 48
早稲川京生まれ。社会学者。東工大助教授。講談社から「社会がわかる本」が出た。よろしく。

JO-CAZ-TV
キャスター

ひらの・ひろし 59
大阪生まれ。政治学者。学習院大大学院修了。愛知県立大講師。花粉症も吹飛ばすプロの復活。あめめでたい。

DATA

3月20日、かねてから保守派の抵抗に業をいやしていたロシアのエリツィン大統領が突然、超法規的な「特別統治」の導入を発表。対立は決定的となった。最高会議（ハスブラト）議長は「ただちに反響、その提案をうけて、23日にはソリン最高裁判所長官が「特別統治」を違憲とした。これに一步譲って、エリツィン大統領は24日「特別統治」の語句を削った大統領令を発表。3月28日、人民代議員大会に提出された解任決議をかわらうとして否決したが、最高会議を牙城にする保守派の攻撃は依然強く、大統領を取り巻く情勢はますます厳しい。

保守派の攻勢に苦しむエリツィン
大統領。ロシアの今後は?

エリツィン大統領が
追いつめられた理由

カナダ・バンクーバーで米ロ両大統領は「ダイナミック・パートナーシップ」をうたいあげた。91年のロンドン、92年のミュンヘンと過去2回のサミットでは、西側各国が共同歩調を確認していたのと比べると、4月14、15日の両日、東京で開かれたG7（先進7ヶ国外相・蔵相会議）に先立ち、両国がまず会談して援助の大筋を決めるのは異例。アメリカがロシアの安定をいかに重視しているかがわかる。依然としてアメリカを核攻撃できる唯一の国であるロシアが、民主主義を確立できるかどうかは、利益に直結するのだ。

国民の貧困をよそに
私腹を肥やす特権階級

インフレや不景気のおおりで、ロシア国民の実所得はこの2年で半分に落ち込んだ。しかし一部の特権階級（規制のゆるんだ国営企業の資産を自由に運用できる人々）は濡れ手に粟の儲け。この落差が国民の間に政治不信と絶望感を生んでいる。

この窮地を乗りこえる
に中国は頼むべし

エリツィンはどうして、早めにはやまな最高会議を片付けておかなかったんでしょう。ソ連共産党独裁だったロシアには、民主主義の伝統がないから、自由選挙がどんな結果になるかわからない。そこでこの前の憲法は安定のため、旧ソ連の幹部たちにも議席を与え、中途半端なものだった。議会の構成をみて、数十のグループが乱立して、政党の体裁をなしていない。強そうな指導者が現れる。この力を利用してゴルバチョフを追い落としたエリツィンが、今度は同じ力学にまよって追い落とされかねない。

最悪の場合、ユーゴスラヴィアみたいな泥沼の内戦になる。しかもロシアには核兵器が

「最悪の場合、ユーゴスラヴィアみたいな泥沼の内戦になる。しかもロシアには核兵器が沢山あるから、ユーゴよりもっと恐ろしい。世界中が大迷惑だ。中国は長い国境線に、軍隊を何十個師団も張りつけておきなさい。ないし、アメリカは核戦争を警戒、冷戦時より偶発戦争の危険は高い。ヨーロッパの諸国だって生きた心地はしないはずだ。」



食へても食へても腹へこはんだ

注① 人民代議員大会
1989年に最高権力機関として、ソ連邦人民代議員大会が設立された。これは憲法の採択と改正、内外政策の基本方針を決定する機関。90年3月からは、各共和国の人民代議員大会も設立。現行のロシア連邦人民代議員大会の代議員もこの時の選挙で選ばれた。定数は1068。

注② ダイナミック・パートナーシップ
クリントン大統領はロシアの民主化と経済改革が米国にとっても極めて重要と強調。この立場からバンクーバー宣言は「国際的安定を強化する米国のダイナミックで効果的なパートナーシップ」をうたった。

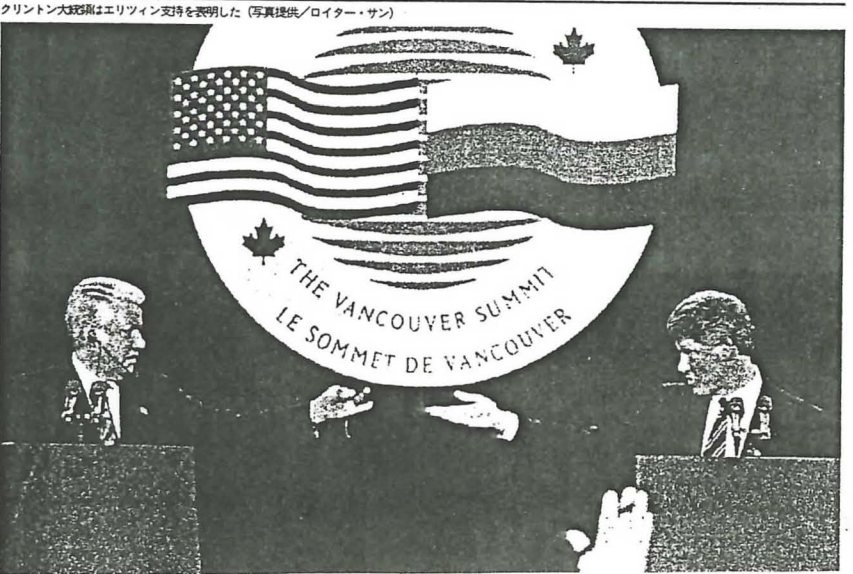
緊急ニュース

エリツィン大統領は4月12日、「7月の東京サミット前の5月にも訪日したい」と発言、外務省もこれを歓迎した。昨年9月の訪日を直前にキャンセルした同大統領だが、先ごろ日本側が対口支援と北方領土問題を実質的に切り離す方針を決めたのを評価したものの、病氣辞任した渡辺外相の後任、武蔵野文外相も、切り離しを明言している。

ひらの・ひろし 59年大坂生まれ。政治学者。学習院大大学院修了。愛知県立大講師。庭の桜は散っても様は満開。何か順番が違うような……

JO-CAZ-TV
キャスター

はしづめ・だいさぶろう 48年神奈川県生まれ。社会学者。東工大助教授。この春から、近所で英会話を習いはじめました



クリントン大統領はエリツィン支持を表明した（写真提供/ロイター・サン）

ますます泥沼化するボスニア内戦 はたして出口は見つかるの？

「ユーロ」への時間です 69

DATA

故チトー大統領が築きあげたユーゴスラビア連邦共和国が、冷戦の集結とともに崩壊し、セルビア人、クロアチア人、イスラム教徒などの間で激しい民族紛争の泥沼が続いている。最近では、ボスニア・ヘルツェゴビナの情勢が危機的だ。92年3月に住民投票で、独立を決めたものの、イスラム系住民より人数の少ないセルビア系住民の武装勢力が支配地域を拡大、ほぼ全土の7割を制圧した。「民族浄化」の名のもとに、イスラム系住民を強制収容所に閉じ込めたり、兵士による集団レイプが横行したりして、国際的な非難をあびている。

国連は、セルビアに対する経済制裁を強化する（ついで、1月のジュネーブ和平会議で、ボスニアを10の自治州に分割する「パンスルオーエン案」を提案した。ところが、5月15、16日に行われたボスニアの「国民投票」は、圧倒的多数で提案を拒否、武力介入をほめかしていたクリントン米大統領も「封じ込め政策」(紛争を他地域に波及させない政策)に後退してしまっただけで、セルビア勢力が支配権を握る現状をそのまま追認するに等しいため、イスラム系、クロアチア系住民などから失望の声が上がっている。

歴史をふり返らないとこの内戦は理解不能

火薬庫と言われたバルカン半島は、歴史の運命にもあそばされた不幸な場所だ。第一次世界大戦も、ここで火を噴いた。いまだ民族内戦に苦悶する旧ユーゴの現状をみると、独立の父・チトー大統領のカリスマがいかに偉大だったかを思い知らされる。

「この国家、二つの文字、三つの宗教、四つの言語、五つの民族、六つの共和国……」と言われたほど、複雑だったユーゴスラビア国名は「南スラヴ」を意味する。東ローマ帝国がその昔、侵入してきた蛮族に對抗するため、スラブ人を移住させたのが始まりという。そのあとも、オスマン・トルコの支配下でイスラム教に改宗したスラブ人と、セルビア正教のセルビア人やカトリックのクロアチア人が反目。ナチス上層下ではクロアチアの傀儡政権が他民族を弾圧するなど、大國に翻弄されつづけてきた歴史がある。

チトー時代には息を吐いた民族主義が、冷戦の終わりとともに暴走を吹き返す。まず、バルト三国に続き91年6月、いち早く連邦離脱・独立を掲げたスロベニア、クロアチア共和国に、セルビア共和国が猛反発。セルビア系住民を保護すると称して、連邦軍を送りこみ内戦が勃発した。セルビア共和国を率いるスロボダン・ミロセビッチ大統領は、巧みな

愚問をえ？ 突然弱腰になったクリントン

血を流す内戦が続く旧ユーゴ、ボスニアに、ヨーロッパも国連もアメリカも、有効な手を打てずにいる。とくに、優柔不断なクリントン政権のたつきぶりが目立っている。クリントン大統領は選挙期間中、ボスニアのセルビア人勢力の空爆を主張。国連のパンスルオーエン案も生ぬるい乗り気ではなかった。ところが2月になると、同案の支持を表明する（ついで、武力介入でなしに、イスラム系住民に対する「人道的援助」を決定。輸送機が撃墜されないよう、一万mの高空から物資を投下したので、あまり効果はなかった）。

セルビアにとって不利なパンスルオーエン案

それ以上の泥沼を覚悟しないといけない。かと言って、どちらかが抵抗できないほど打ちのめされるまで、戦火のやむあてがないのだとしたら、なんとも胸の痛む話である。

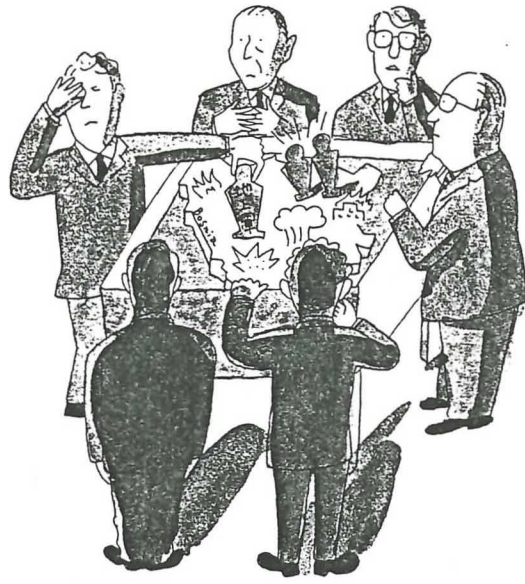
「パンスルオーエン案は、どういうことをねらった案なのでしょう？」

「元米国防務長官のパンス、元英外相のオーエンが、ジュネーブの和平会議で提案した案だが、柱は二つある。①ボスニアを、十の自治州からなる非中央集権国家とする。②停戦と和平の取り決め。要するに、民族混住はもう無理だから、細かく分かれて、民族ごとに政府を作りなさい、というわけだ。」

「それでは、ボスニアはばらばらに解体してなくなってしまう……?」

冷戦のタガがはずれ、噴出したのがこの紛争

「そんなのってありですか? 強制収容所の写真はショックでした。民族浄化なんて見ていけるんなら、正義は手こまねいてほしい。そうだけど、もともと民族が混住していた場所だ、民族ごとに国家を作ろうということになったら、混住は不可能だ。昔ヨーロッパ諸国が卒業した段階を、ユーゴはいまやらざるをえないという事です。東西冷戦のさまでチトーが現れ、民族問題をいわば冷凍庫に入れてしまった。冷戦が終わって冷凍がとけてみたら、異種同卵だったわけ。」



ためらっちゃうよね…… ホク。

注1. チトー大統領 第二次大戦中の独逸バルカン半島の英雄。53年、ユーゴスラビアの初代大統領に就任。民族主義を弾圧して、中央集権体制と地方分権のバランスをとりながら均等な発展を図るという独自の社会主義を発展させた。ユーゴ「建国の父」と呼ばれる。80年死去。

注2. ボスニア・ヘルツェゴビナ 面積5万1129km²。正式名は「ボスニア・ヘルツェゴビナ共和国」。住民はイスラム系40%、セルビア系32%、クロアチア系18%など。首都はサラエボ。独立を支持するイスラム系およびクロアチア系と、セルビアとの合併を支持するセルビア系住民が対立。これが現在の紛争へ発展した。

緊急ニュース

セルビア武装勢力がイスラム系住民を攻撃していたと思ったら、今度はイスラム武装勢力がクロアチア系住民を攻撃。クロアチア武装勢力もこれに反撃して、ボスニア情勢はますます混沌として様相を見ている。6月10日には停戦協定が結ばれたが、翌日にはイスラム系部隊がクロアチア陣地を攻撃。早くも停戦合意は崩れ去った。

手をこまねいてはられないと6月14日、ガリ国連事務総長は、「安全地帯」構想を進めるため6500人の増派を安理に勧告したが、各国の足並みは揃わない。「安全地帯」はゲッターに等しいと、イスラム系諸国が難色を示す。いっぽう、停戦前の派兵はしないとアメリカにもべもない。エリツェン政権も、セルビアとの友好関係に配慮する軍部の反対が足かせになって、動けないでいる。実効性も疑わしい計画のため、単なる気休めと厳しい見方をするEC首脳もいる。

いっぽうソマリアでは、国連軍が一般市民に発砲し死者を出す事件が発生。現地の反発が高まっている。国連軍さえ派遣すれば紛争が収まるほど、現実には甘くない。出口の見えないボスニア紛争に打つ手はあるのか、7月のサミットでも展望は開けそうにない。



5月に催されたミス・ボスニアコンテスト。コンテスト中、こんな横顔も登場した(写真提供/ライター・サン)

6月になって、安全地帯構想の提案に、セルビア政府が同意しました。

「この構想は現状のまま、国連部隊が間に割って入ろうというもの。そうやっておいて、セルビア側を経済封鎖で締めつけ、イスラム系住民の地域に自由貿易地帯を設けて各国が経済援助。セルビアを困窮独断的な状態に追い込み、軟化を待つ案も出ている。」

「アメリカに代わって、ボスニア問題では最近ロシアが熱心に動いてますねえ。」

「軍事介入ならアメリカに任せられない。でも口を出さなければ、ロシアにもできる。もともとロシアは、スラブ系のセルビアをその国と思っていない。それに、スラブ系とイスラム系が混住している民族構成は、ロシアや旧ソ連の共和国と同じです。今日のユーゴは明日の我が身というわけで、切実に問題の解決を模索している。この切実感を、日本も自覚したいものです。」

「それにひきかえ、クリントン大統領のだからできないこと言っちゃ、国民もだんだんわかってきて、愛想をつかしている。でもメジヤー首相、ミッチェラン大統領、宮沢首相もはつとしないので、目立たなくすすんでいる。」

「こんなことで、世界平和は保てるの?」

「だから日本も政治改革をやりとげて、早く責任ある政治システムをこしらえないと」

JO-CAZ-TV
キャスター

はしづめ・だいさぶろう 48年神奈川県生まれ。社会学者。東工大助教授。毎日新聞に、ご成婚についての記事を書きました

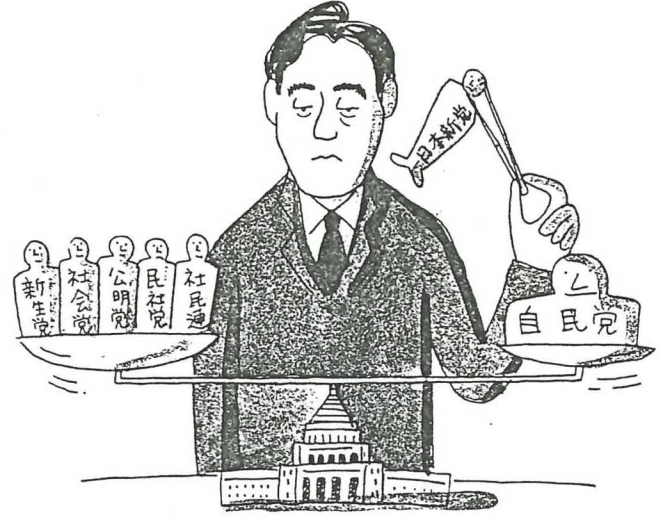
ひらの・ひろし 59年大阪生まれ。政治学者。学習院大大学院修了。愛知県立大講師。グランパスは名古屋的「一点豪華主義」の得点王です!

総選挙後も波乱必至の政界 いよいよ一大政党制が実現するの?

● 熾烈を極めた各党の
虚々実々の駆け引き

7月18日投票の総選挙の前哨戦といわれた部
議議員選挙が、6月27日に開票されてみると、22
名中20名当選と日本新党が大躍進。それにひき
かえ、既成政党はさうして足踏み。なかでも社
会党は議席を半分に減らしてしまつた。
これを境に社会党は、元の路線に戻つてしま
う。自民党の分裂を受け、社会党は選挙後の連
立政権をいかに羽田派と接触。都議選投票日
の27日には社会、新生(羽田新党、公明、民社
社民連の五党が集まり、これまでの政権の「政
策を継承する」と約束、連立政権をいかに「連
立協議会」を設置することで合意した。これが
有権者の社会党離れをまねいたと党内で突き上
げられ、山花委員長は「自民党の政策を継承す
る」と言った覚えはない」と言い出した。

DATA
こんな右左往のため、社会党が総選挙で1
00議席の大半を割り込む可能性はますます大
いっぽう自民党は単独で200議席程度を確保
する勢いだ。こうなることもキャストینگポ
ートを握るが、日本新党である。細川代表は「い
まのままの自民党の延命に手は貸さない」と語
り、言外に、海部政権あたりが成立すれば協力
できるとのニュアンスもみせている。7月
11日には新しい首班が指名される見込みだ。



細川氏曰く
是々非々の立場で…

● 次の首相がたれたらどう
不安定政権になる!?
総選挙のあしむく、国会ですとねえ。
が、200議席前後しか取れなかった場合は、
野党の協力を得やすい人物でなければならな
い。最右翼は、2年前政治改革に失敗して涙
をのんだ海部俊樹元首相の再登壇だ。このケ
ースだと、日本新党の協力もあり、すんなり
選挙制度改革が実現するかも。そのあはす
ぐ解散、また総選挙だ。自民党は過半数をね
らい、日本新党は改革の手柄に、ライ
バルの新生党を追い越そうとするだろう。反
自民連合も、新しい選挙制度のもとでは候補
者を一本化するしかないで、ひとつの政党
にまとまる動きをみせる。こうして「一大政
党制が実現してゆけば、日本の政治もたいぶ
ましになると期待される。

注① セネコン 総合建設会社を意味する
英語ゼネラル・コントラクターの略。日本
においては、ゼネコンの間に工事受注に關
する厳しい審査が課せられている。特
に公共事業の受注では、事を有利に進むた
め政治家の口利きに乗るケースが多いとさ
れる。金丸信前自民党副総裁の巨額受注事
件の際、日本を代表するゼネコン数社に
よる裏金金の事実が発覚したのは、記憶に
新しい。
注② 特別国会 衆議院総選挙の後、30日
以内に召集される国会のこと。現職の内閣
が総辞職し、首相の指名が行なわれる。

緊急ニュース

7月7日に開幕する東京サミットの
ため来日したクリントン大統領は、6
日夜大使公邸でパーティを開き、政界
関係者を招待した。社会党の山花氏、
新生党の羽田氏、日本新党の細川氏ら
も招かれて大統領と懇談。米大統領が
こういう形で野党関係者と会うのはき
わめて異例である。これに先立ち日本の
政界の混乱を「歓迎」する発言をした
クリントン政権は、早くも選挙後の
連立政権をいかに、顔合わせをすま
せた形。羽田氏に「あなたのことは知
っている」と語りかけ、細川氏には
「自分も知事をしてきた。都議選の勝
利おめでとう」と述べるなど、細かな
気配りを見せた。
いっぽう「死に体」でサミットに臨
んだ宮沢首相は、得意?の英語で各国
首脳を接待。外交の成果を強調して政
権継続に望みをつなぐ。しかし選挙直
前の世論調査で、宮沢内閣の支持率は
とうとうひと桁に落ちこみ、リクルー
ト・消費税の竹下内閣末期に迫る記録
的不人気。応援演説のお呼びも少な
い。代わって、石原慎太郎、橋本龍太
郎、河野洋平の「サンフレッチェ」ト
リオが全国を遊説に飛び回り、逆風を
少しでも食い止めようとして必死だ。8日
にはエリツィン大統領も訪日した。

「特別国会というんです」
「そこで首相指名になるわけですが、だれ
が首相になるんでしょ。」
「事前の予想では、自民党が200前後、社会
党が100以下、新生党、公明党が50余りで民
社、社民連、無所属を計算に入れると、だ
いたい同数になります。で、日本新党と新生党
きがけがキャストイング・ポートを握る」
「一回目の投票では、各党とも自分の党首
に入れるんでしょ。」
「いや、連立政権をねらう気なら、はじめか
ら羽田氏に一本化するでしょう。そして、自
民党(たまたま海部氏)と一騎討ちになる。
共産党、日本新党、新進党ががが、自民党に
投票すると思ひます」
「それだけれど、過半数をとれませんね。
「決戦投票で日本新党が入れたほうが、過半
数になる。でも日本新党が、新生党と結ぶた
らうか。これはありそう
らない。自民党と結んで
もいわけですが、そう
すると次の選挙で、日本
新党が突面に立たされそ
うだ。結局、自民党を扱
るのではないかと私は思
う。共産党も自民党でし
うね。」
「とうするときは首相は?
「総選挙の結果次第だ
け

る。宮沢首相が目標とする過半数は無理とし
ても、危機感が働いて、現状を確保する可
能性もある。そうならば日本新党の協力で、
政権を維持する可能性もたしかにある。

● 社会党の分裂、自民の
再分裂もめりえる

総選挙後も、すんなり首相指名とは行きそ
うにない。過半数の206議席をいかにみなが
ら、連立の相談に時間がかかると、政局
にはひと波乱もたつ波乱もありそうだ。
ひとつの可能性は、社会党の分裂である。
連合は総選挙で、上井たか子候補の推薦を取
りやめるなど、社会党左派を切り捨てる態度
に出た。連立協議の際、左派が従来の立場に
こだわって足並みを乱す、結果的に自民党
を有利にする。反自民連立政権を成功させる
には、社会党が山花派と土井派に分裂するし
かない。ありえないことではなさそうだ。
自民党の再分裂も考えられる。離党のタイ
ミングを逸した改革派議員や、どのグルー
プが主導権を握るか様子を見ている議員が、自
民党内にはまだいる。羽田政権の誕生と同時に
新生党が合流したり、選挙制度改革が正念
場にさしかかったあたりで飛び出したり、小
選挙区で区割り不満で反対党にくらげえし
たりというケースがあるだろう。
自民党がだれを首相に推すかによっても、
野党の対応が違ってくる。大勝すれば別だ
れど、いずれにしても僅差で不安定政権の誕
生です。日本新党は両者のバランスに乗っか
り、是々非々の立場で政局の主導権を握る

● 思考がはずれ、矛盾に
悩む日本新党

日本新党はどうして、新生党を毛嫌いす
るんだろう? 細川さんなんかが、羽田さんと
そんなら考え違ふのと思うのに。
「それがむしろ問題だ。細川さんは日本新党
を旗揚げして、選挙で勢力を伸ばし、自民党
の改革派を吸収して保守二党体制を作ろうと
思っていた。ところが選挙より前に自民党が
割れ、新生党が飛び出してきた。これではお
株を奪われてしまつて、困るわけだ」
「新生党は、自民党の金権政治の落とし子
じゃないかと攻撃されてますよ。羽田さん
は、政権の中核にいた自分たちが、政治改革
の必要をいちはん感じていたんだと書つて
いて、なるほどと思うけれど、小沢さん
がらうののも気にするんです。選挙制度も
さることながら、腐敗防止をやらないとダメ
じゃないですか。新生党にできますか。
「政治腐敗の原因は、政治資金の問題と、政
権交代が起こらないこと、2つある。政治
資金規正法とかいっても、みなザル法です。
う。政権にしがみついている自民党が、本気
で腐敗防止をやるわけない。政権交代のほう
が先だ、というのが新生党の考え方です」



6月27日に行われた、野党5党の党首会議。選挙後、果たしてこうした形が見られるか(写真提供/産経新聞)

「日本新党がそれに協力すれば、自民党に
代わる政権が作れるではありませんか。
「でも、日本新党は主導権を失つてしま
う。ここが矛盾しているのですが、日本新党は当
面、政権から距離をおき、第三の道」を目指
すと書つています。でも選挙制度改革が実現
して、小選挙区が主になれば、第三の道など
成り立ちません。一大政党が各選挙区で候補
者を立て、一議席を争うのですからね」
「次の選挙が大変だな、日本新党は」
「一大政党の一角にめぐりこむ道は、自民党
の改革派と合体することと思ふ。小選挙区
では、自民党も苦戦する。日本新党の票があ
れば、なんしか戦える。そこで、自民党の内
部にも、新生党グループと対抗するため、
党を割つても日本新党と結ぼうと考える人々
が動き出してもおかしくない。細川さんはこれ
を待つているんじゃないか」
「自民党の再分裂?面白いですね。久
しぶりに国民が、政権を選んでいるという実
感がする。財界、官界はもう動くでしょう?
「当然、政権のゆくえは不安定ですから、ど
う転んでもいいように、距離をおくのではな
いか。政・官・財の鉄の三角もゆるん
でくる。クリントン政権が今回の政変を歓迎
しているのは、これで日本の黒字減らしの交
渉もしやすくなると思つてからです」
「年内にまた選挙があるんですか?」
「二党体制確立まで、つねに解散ありです」

はしづめ・だいさぶろう
48 年神奈川生まれ、社会学専攻。東京大
助教授。研究室に新しいアシスタント
の1さんが来て、助かっています

ひらの・ひろし
59年大阪生ま
れ。政治学者。学習院大学卒業。学
院知事立大講師。選挙も経験して、ホ
ッと思。少し休みたい!

盛者必衰の論理!? 自民党派閥政治の崩壊で政権は非自民連合へ

「ニュースの時間です」 73

DATA

7月29日、野党7党（日本社会党、新生党、公明党、日本新党、新党さきがけ、民社党、社会民主連合）と参院の民主改革連合は、キャビトル東急ホテルで記者会見を行い、連立協議の合意書にサインした。8月5日に召集される特別国会では日本新党の細川代表（55歳）を首班に指名することも発表され、細川首相の誕生が確実になった。政局の無意味な連立内閣の組閣人事と、国会での野党党防に移った。

翌7月30日、自民党は党本部で両院議員総会を開き、退任する宮沢総裁に代わる次期総裁を決める投票を行った。28日に立候補したのは渡辺美智雄元外相と河野洋平官房長官の2名だったが、予想通り若手の支持を集めた河野氏が49票差をつけて当選を果たした。河野氏も56歳と若く、世代交替を強く印象付けた。

細川連立政権の共同アビールを見ると、第一に掲げられているのは政治改革。小選挙区比例代表並立制、今年中に実現するという。外交防衛など国の基本政策は、これまでの政策を踏襲するとしており、社会党左派が妥協を強いられたかたちだ。今回の政権を「ガラスの連立」と評する向きもあり、短命に終わるとのジレンクスのねはのけられるか注目される。

情勢がまったく読めなかつた悪かな自民執行部

「宮沢総裁は、C級戦犯、またB級、A級戦犯がいる。その人たちの責任をはっきりさせるべきだ。」次々立つ若手議員の追及に、壇上に居並ぶ龍山静六幹事長、佐藤孝行総務会長、三塚博政調査会長ら執行部は、苦虫を噛みつぶしたような表情だ。とうとう執行部は「結束・前進の会」で後継総裁を調整するとの提案を取り下げる。自民党派閥政治が、音を立てて崩れた瞬間である。

宮沢喜一氏は、自由民主党を口減させた悪かな総理として、歴史に名を残さず。不信任案が通ったあと、解散したのはまさか。すぐ総辞職し、後藤田氏が海部氏あたりを後継者に指名すれば、自民党政権は維持できた。総選挙のあととすずすしているうちに、日本新党の抱き込みに失敗した。もともと日本新党は、新生党や社会党左派に反発して、自民党に協力し、そのあおりで非自民連合は崩壊消滅していったろう。「結束・前進の会」などという派閥ホスの集まりを作った。次の総裁を争ぼうというアイデアも時代遅れだった。こんな提案で乗り切れると説いた執行部は、完全に世の中に遅れている。まるで情勢の読めない執行部がボカを繰り返すうちに、政権は非自民の側に大きく傾いてしま

この混乱は紛れもなく、若手議員の道反だ

自民党の混乱は、派閥の締め付けが効かなくなった証拠だ。中選挙区制もとうとう今回が最後。次の小選挙区でも比例区でも、党の公認がなければ当選できない。今のうちに党を民主化しておかないと、ボスの支配がもっと強まってしまいことになる。この危機感で、若手は必死になっている。

政治改革が実現すれば、若手は長老支配から解放されて、自由になる。派閥のボスに政治資金を頼るよりは、政党の公費補助を実現したほうがいい。若手がそこまで覚悟を決めれば、非自民連合と協力して、法案は確実に通る。それでも長老が文句を言えば、若手や改革派がごっそり離脱。自民党はもりの殻になるだろう。特別国会を前にした7月末の駆け引きの段階で、自民党の下野が確定。再分裂も現実味を帯びてきている。

非自民政権の背後には、やはり小沢の影が

非自民7党は、直前までの羽田首班の流れが、土壇場で細川氏になりましたね。「これは小沢氏の作戦勝ちだ」と思う。細川氏



7月29日、勢揃いした連立政権の党首。下馬評通り任命政権で変わるのか? (写真提供/登壇新聞)

予想外だった河野 自民党総裁の誕生

自民党総裁は、河野さんになりました。橋本さんも太田さんも出なかった。「渡辺氏は健康面からも、最後のチャンスとしか出馬するしかない。日本新党と手を組めるチャンスがあった間は、海部氏の目もあつた。でもその可能性がなくなって、海部支持はトーンダウン。三塚氏及び後継、後藤田氏も固辞して、河野氏を擁護する」と、改革派の若手や宮沢派などからこれに乗って、大勢は決した。

河野さんは、どうして急に立候補することにしたんでしょうか?

「本人は、突然のうちに、なつたと言っている。渡辺氏側は最初、橋本龍太郎氏、森山真弓氏らも立候補すれば、票が割れて有利と思つたらしいが、たまたま裏で話がついて

超強力野党・自民党内、非自民は7対1の対決だ

とにかく連立政権がスタートしたわけだけども、またすぐ選挙でしょうか? 「政治改革を年内にやると約束したから、これをまず片付けよう。問題は小選挙区の区割りです。当選には50%近い得票が必要だから、地元の後援会を持つ有力議員もうかうかできない。連立側も同じで、各選挙区にフレッシュユナ自民党の新人候補が立ちますから、次の選挙は苦しい。一方、比例区は指定席ですから、落選が怖い長老や、党内のうらさがたはここに押しこんでしまおう。いすれにせよ、幹事長や党委員長の権力が増します」

よもやまにみれば、国民が議員を選べない比例区は、グロテスクです

「とりあらず、改革反対の議員や共産党をなだめるため、比例区を設けるのは仕方ない。小選挙区に理解が得られれば、もう一度選挙制度を直し、小選挙区一本で行きたいというのが新生党の考え方だ」と思っている。非自民連立の側は、どうやって候補者を調整するんですか?

「それが大変。次の選挙では、公明党の支持者が日本新党に入れたり、社会党の支持者が新生党に入れたりしないといけない。張り合いがなくて、自民党に負けしてしまう。それを防ぐには、連立でなく、合体して新しい大きな党を作ったほうがいい。」

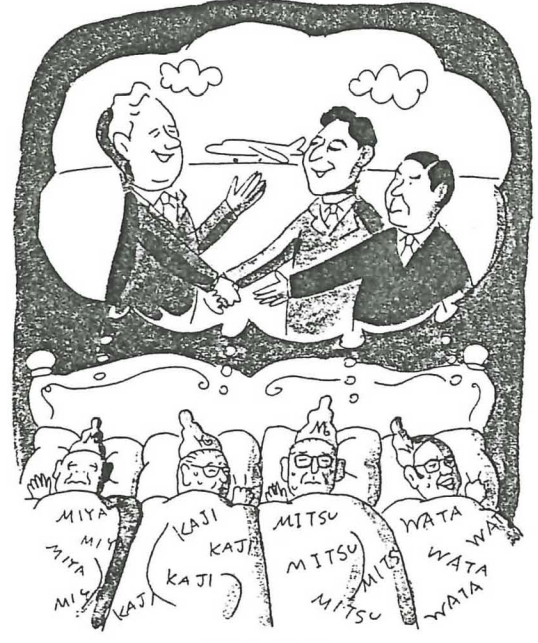
公明党と新生党が一緒になっても100ちょっと。日本新党が一緒になりますかね? 「だから日本新党は、次の選挙で議席を伸ばしたい。日本新党は、バブルと見えますが、その議員を鞍替えさせたり、新人の当選を増やしたりなど、いろいろ手を打つ。自民党でも守旧派議員がだんだん淘汰されて、世代交替が進めば、再分裂の可能性もある。小選挙区は2大政党向きだと言われている。小選挙区で2大政党ができるか、また議論がない。」

日本新党・対・新生党、これを軸に、自民の緩急や公明、社会がでんでんくつつくというのはどうでしょう? 「それはおもしろいかもしれないなあ」

はしづめ・だいさぶろう '48年神奈川県生まれ。社会学者。東工大助教授。9月14日に相模原「暮らしの大学」で講演します。

JO-CAZ-TV
キャスター

ひらの・ひろし '59年大阪生まれ。政治学者。学習院大大学院修了。愛知県立大講師。やまと夏休み、香港に行ってきました。



同床同夢

注① 小選挙区比例代表並立制 現行の参院選とほぼ同じ。まず、定数を小選挙区と比例代表選に分け、それぞれ別の選挙として同時に実施して、当選者を決める制度。小選挙区制で政権交代の緊張感を醸成しつつ、比例代表制で第3党以下の政党にも議席獲得の道が開かれるメリットがある。しかし、第1党に得票率を上回る議席を与えないことになり、その結果、小選挙区定数の増えるほど、比例区部分の狭くなるほど強まる。現在出ている案としては、小選挙区250、比例代表250というものが有力である。

緊急ニュース

野党になることが現実になった自民党は、農水省とわたりあい、次の選挙でまた自民党に負けるというのか? と怒声かき交うなか、こり押しで米価の実質2.5%上げを決定させた。7月31日の米価審議会は、米価の据え置きを答申、別途助成金186億円を上積みする不明朗な決着となった。

流動する日本の政局に、各国は情報収集を急いでいる。クリントン政権は今回の政権交替を、日本の民主主義が成熟する第一歩だとして、歓迎する姿勢である。しかし短期的には、日本政府の交渉力が弱まり、懸案である貿易不均衡の是正や構造協議などに支障がでることも予想。日本側の出方を見守る考えである。

注目の細川内閣だが、新生党羽田党首の蔵相・副総理就任が確実とされるほか、公明、民社の党首クラスも入閣し、民間人複数の起用も決まるなど、実力者揃いの清新な顔触れが下馬評にのぼっている。とりあえず政治改革に力点を置くが、来年度予算にも意欲をみせており、ゼネコン汚職の摘発もからんで、地方の自民党離れを加速するかもしれない。連立政権が一度の成果を取れば、日本の政治風土も一変するものと思われる。

改革開放政策下の中国。急激な成長の裏で何が起きているのか？

「ニュースの時間です」 75

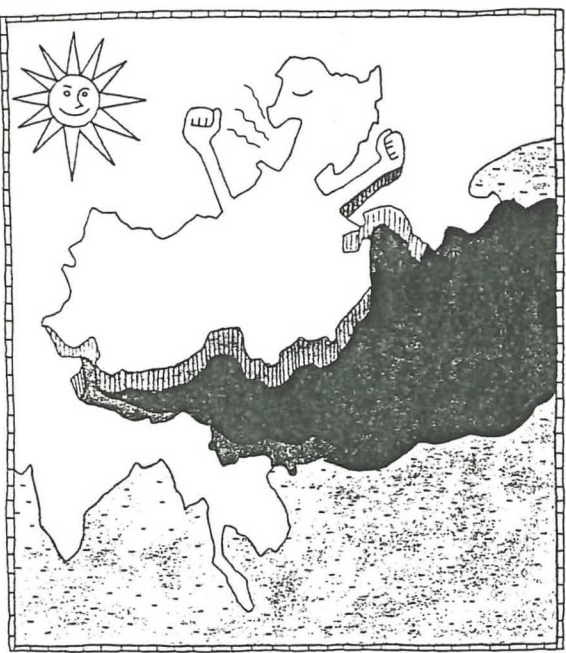
1993-2
9/13

DATA

6月下旬に開催の予定が延期されていた中国共産党第14期中央委員会第3回全体会議(三中全会)が、近々北京で開催される予定だ。この数年加勢の国内経済をならみながら、幹部の腐敗・汚職や、経済的な負担に耐えかねた農民の暴動など、改革開放政策の「ひずみ」に手を打つかが集中的に検討されるだろう。

今年4月に心臓病で倒れたから治療に専念している李鵬首相の代りに、この会議を取り仕切るのが朱鎔基副首相。同氏は、7月2日に更迭された李貴鮮氏に代わって人民銀行総裁も兼務しており、土地投機や乱脈融資などでインフレーションの経済の「整頓」にあたり、李貴鮮氏は、李鵬首相に近かったが、天安門事件後のような経済引き締めをふたたび行なうべきだと主張。改革加速の流れを維持しようとする鄧小平氏の考えと衝突したと見られる。保守派の後押しで地位を守っていた李鵬首相だが、このころ影が薄く、事実上、江沢民―朱鎔基体制が始まったと見る向きもある。

今年1月からの4カ月間で、256件を数えた農民暴動だが、その後も収まる気配がない。福建省から海外へ航路をはかる農民もあとを絶たず、国内の矛盾は新たな局面を迎えている。



巨人が目を見ました!

注① 朱鎔基 1928年湖南省生まれ。88年に上海市長。89年6月には江沢民の後任として同市党委書記兼市長になった。合理性を重視する技術者の経験を生かし大胆な経済改革を押し進め「中国のゴルバチョフ」の異名をとる。大塚所・鄧小平の信任が厚く、彼の後継者の一善と目されている。

注② 盲流 貧しい農村部から大都市に流出する現象。経済改革の先進地である広東省や沿海都市に集中している。経済引き締めと発展のめざましかった郷鎮企業業の整理によって農民が仕事を失ったのが原因である。

緊急ニュース

アメリカ政府は8月25日、中国がMTCR(ミサイル関連技術輸出規制)に違反してバキスタンにミサイル製造技術を提供したとして、経済制裁に踏み切ると発表した。アメリカは中・両国に対し、再三事実関係を明らかにするように要求してきたが、両国は一貫して否定。しかし衛星写真などの証拠から、中国がM11ミサイル(射程数百キロの地对地ミサイル)の技術を提供したことは明らかとしている。人権問題の追及をあわせて、クリントン政権の対中姿勢は一段と強硬になった。

アメリカは今年5月、中国に対する最恵国待遇の継続を決定したばかり。だが議会内には、人権弾圧などを理由に反対の声が強く、今回の措置が来年5月の再継続に影響するの必至だ。

アメリカの不快感の背景は、ハイテク化を急ぐ中国軍への警戒感だ。中国軍は最近、南沙諸島周辺海域で大規模な演習を行なったばかり。このまま軍拡を続け、周辺諸国への圧力を強めないうちにこの警告を受け取れよう。クリントン政権は、日本など同盟諸国も今回の経済制裁に同調するよう暗に求めてきており、発足したばかりの細川政権は、面倒な問題をかかえて苦しい立場に追い込まれた。

はしづめ・だいさぶろう '88年神奈川県生まれ。社会学者。東工大助教授。岩波の「思想」で「中国の官僚制」の翻訳をした。

JO-CAZ-TV
キャスター

ひらの・ひろし '59年大阪生まれ。政治学者。学習院大学院修了。愛知県立大講師。新聞用に写真を撮ったが……うーん、ソビエト。

力準備(実際にどれだけ物が買えるか)で考えると、中国の生活水準はかなり高い。成長の勢いをそがないでインフレを抑え、しかも国営企業の合理化を進め、農民所得も高めること、この難題を、朱鎔基副首相を中心とする指導部はクリアできるだろうか。世界で唯一、好況が続いている奇跡の中国経済に、世界が注目している。

発展著しい沿海部、停滞に苦しむ内陸部

「最近続々と、アメリカに密航船が到着しています。大がかりな組織があるみたいですが。『福建省などから組織的に送り込まれる密航客を、人蛇、密航ブローカーを、蛇頭』という。密航客は、1人平均3万ドルでアメリカに渡り、働きながら借金を返済。この儲けが年間30億ドルにのぼるといふから凄いです。」

「中国側では取り締まれないんですか?」
「地方政府の役人が買収されている。密航や密貿易をやり放題の場所もあるみたいだ。」
「香港の新聞には、最近の農民暴動は共産党支配が崩壊する前触れだ、みたいに書いているものもありましたけど。」
「それは言い過ぎ。いまの農民暴動は過渡的なものだと私は思う。資金繰りの苦しくなった地方政府は、税金を取り立てることばかり考えないで、国営企業を合理化したり、無駄を省いたりするのが本当だ。農産物の買い付け価格も、このころ低く抑えられているけれど、少し高くしないと農民は苦しむ。」

「内陸部と沿海部の所得格差は、そんなに大きいのでしょうか?」
「合併企業などにより就職すれば、平均賃金の数倍、数十倍の収入も夢ではない。自分で事業を始め、うなるほど金を持っている。でもそういうチャンスは、内陸には乏しい。内陸農村で現金収入のみは郷鎮企業だけれど、これも競争力のないところは赤字で大変だ。インフラの整備も遅れている。発電所、送電線、道路、港湾、鉄道……長期的な整備が必要なんだから資金

鄧小平ほどの権威が望めない後継者たち

「ところで、中国の軍備が急ピッチで拡大していますね。来世紀までに、国産空母2隻を建造するという計画も発表されました。」
「軍事費でみると、実はあまり突出していません。湾岸戦争で、ソ連製兵器で戦ったイラク軍が全滅したのを見て、ハイテク兵器の導入に熱心になった。南沙諸島の領有問題などで軍事的プレゼンスを強化したい面もある。」
「共産党がガタついてくると、解放军が各地で独立し、中国が分裂する可能性も?」
「軍閥の時代を経験している中国は、分裂を恐れている。解放军の楊尚昆、楊白冰兄弟が

中核から追われたのも、生粋の軍人が党・政治に介入するのを嫌ったせいである。党が軍を指揮する原則は、今後も続くはずだ。」
「でも、鄧小平氏が、マルクスに会いに行く日もしばしばありますね。後継者は?」
「それをいふ言のうはむずかしい。確かに、それは、誰が後継者となるにしても、毛、鄧のような権威は望めないこと。鄧小平はフランス留学中に周恩来と同盟、解放戦争や中ソ論争では毛沢東の腹心と、中国革命の第一世代だ。彼が、改革開放、と言ったからみんな従った。その子供たちの世代では、もっと集団指導的なやり方になるだろう。」

「朱鎔基副首相は、後継者の一人だとも?」
「まずは、経済のマクロ調整の手並みを見なければ。これを乗り切れば、後継者の地位を確率する可能性もある。胡耀邦、趙紫陽と、鄧小平の後継者はみな失脚した。朱鎔基もコケるようでは、改革開放路線のリーダーがいなくなる。ただ当面、大國、中國、を志向する中央集権には国民的な合意があるから、誰がリーダーになろうと共産党政権は続く。」

「中国はずいぶん、日本を追い越しているように見えますね。」
「それが中国の本来の姿。日清戦争以来、中国を軽視してきた日本人は、その事実を認めるときに時間がかかる。できればアメリカを仲間に入れて、日米いっしょに中国を援助し、日中米で東アジアの新秩序を建設するのが賢明だ。そういう構想力を政治家に望みたい。」

「相対的剝奪感」と、官僚の腐敗・汚職が蔓延している「不正義感」のせい。このままほっておくと、共産党政権の基盤である農民の支持を失ってしまう恐れがある。

「問題はあながち着実に力をつけている中国経済を、農民だけでなく、都市部の住民にも不満がついている。いちばん困るのが、インフレ。去年から今年にかけて、景気はずで天安門事件直前(89年前半)に匹敵する「過熱」と言ってもよい状態だ。特に銀行システムの未整備のため、国営企業の赤字の穴埋めが日常化し、放漫貸し付けが土地投機をおおっている。貨幣供給が野放しのまま経済成長を続けられ、インフレになるのは当たり前だ。」

「それでも、天安門事件のころと比べると、中国経済の地方は着実に進歩している。当時は設備投資不足で、粗悪品でも片端から売れたが、設備投資が一巡した結果、最近では生産力が強化され、供給力過剰だ。消費者は質の高い製品を求め、買い急ぎをしなくなった。そのため、中国の貯蓄率はきわめて高い。これを原資に中国の高成長は維持されている。貿易も黒字基調(特に対米)が定着している。中国経済の実力をどの程度に見積もるかが、実質ですべて日本と肩を並べたという説もある。人民元は過少評価されているので、ドルに換算すると大したことはないが、購買



老齢で健康状態が懸念されている大塚所・鄧小平。彼とあとの指導者はいったい誰? (写真提供/ロイター・サン)

発足から2カ月。短命？長期？ 細川政権の今後はどうなる

「ニュースの時間です」

DATA

10/13

国連総会に出席のため訪米中の細川首相は9月27日、クリントン大統領と1時間15分にわたって会談した。政権発足以来、初の日米首脳会談は、かつてないような内容のものだった。

米側の細川政権に対する期待は熱い。9月13日、パレスチナ暫定和平合意調印式に出席した羽田外相は、クリントン政権の丁寧なもてなしを受けた。日本の黒字減らし、経済改革への期待も高まっているが、北米自由貿易協定や医療保険制度改革など国内問題にいま一手一杯のクリントン政権は、対日圧力を強める余裕はない。当面は細川政権を見守る構えである。

無難にすべり出した細川政権だが、ちくちくさも目立ち始めた。まず連立与党の一角、社会党の山花委員長が退陣して、村山委員長に交代。それでも党内は、すっきりまとまっていな。

9月16日に政府が決定した総額6兆円の緊急経済対策も、評判がいまひとつ。不況感が長引くなか、所得減税を求める声が強いが、細川首相は赤字国債と所得減税に消極的だ。消費税率を引き上げて所得減税したいところだが、社会党が反対しているうえ、国民にも不人気。これで政治改革の年内実現がもたつくようだと、注意信号が点灯するかもしれない。

首相が代わるとすぐに日米首脳会談。このアメリカ語では「参動交代」と言われたものだ。ところが今回、クリントン政権は細川政権に少し違った感じを持っているようだ。

日本政治のめまぐるしい変化に、ワシントンでは毎週のようにシンポジウムや研究会が開かれ、情報収集に追われているという。自民党一党支配は半永久的に続く、みたいなことを言っていたリビジオニスト（日本異質論者）も大あわてだ。彼らの主張を下敷きに、「黒字削減の目標数値を示せ」と唐突高に迫っていた政府関係者も、ひと休みである。

知事出身のクリントン大統領は、よく似た経歴の細川首相に親近感を覚えている模様。これで細川首相が持論の政治改革、規制緩和や地方分権、手腕を發揮すれば、対米黒字も減るだろうし、言うことなした。市場はとくに開かれている」と言い張っていた日本政府が、「もつと開放を進める必要がある」と認めたのだから、大喜びである。

もつともこの先、アメリカの思惑と細川政権の方針が合致する保証はない。アメリカは日本に、世界秩序を維持する責任分担を求め、常任理事国入りはその小手調べだ。北朝鮮の「労働1号」に対抗する「戦域ミサイル防衛計画(TMD)」にも参加を提案して

いる。これは、小沢一郎新生代表幹事の「普通の国家」構想に近く、細川首相としても慎重にならざるを得ない。

願望にみえる細川政権が抱える様々な問題

細川政権の前途には、いくつもの難関が待ち構えている。まず、経済対策。公定歩合の0.75%下げで金利は市場最低水準だが、景気はまだ底冷え。アメリカも所得減税や規制緩和を求めている。財源確保に消費税率引き上げは避けられず、人気も落ち込みそうだし、懸案の政治改革。並立(250対250)の2票制の連立与党案をとりまよめたが、自民党も対案を用意しており、すんなり成立するかどうかわからない。年内成立が無理となれば、致命傷になる可能性がある。

第3に、新・新党問題。日本新党と新党さきがけが必ずしもしっくりついていない。小選挙区あり方、いかにでは、政界再編が一気に加速する可能性もある。その流れに日本新党が吹き飛ばされてしまえば政権もそれまで。

第4に、官僚主導がかえって強まっていること。連立与党は足並みがそろわず、法案をとりまとめる切れないうちに、官僚主導(実質は官僚主導)の政府案が先行するケースが目立っている。このまま官僚が力をつけたのでは、規制緩和も市場開放もむずかしい。実績があらならないと細川政権は苦しむ。

会談後、ニコニコと握手する両首脳。細川政権へのクリントンの期待は限りなく大きい……(写真提供/ロイター・サン)



当面細川政権の救いは、野党自民党にもこれといった決め手がないこと。傍流だった河野総裁は全党的支持を集めておらず、与党を攻めあげている。渡辺美智雄氏は創価学会批判を強め、これまで選挙協力を得ていた議員を当惑させている。このまま野党を統括していると、求心力を失って再分裂しようだ。

細川氏としては、日本新党の人気の高いうちに解散・総選挙に持ちこみたいところだ。新生党としては連立与党の基盤固めのため、予算を2年手がけたい。そして細川政権のあと、いよいよ羽田政権登場という筋書きだ。いずれにせよ細川連立政権は、自社両党分裂までの過渡的政権ということになりそうだ。

会での振舞い方や英語での演説、サマになった。演説の夫人の採点は65点、発音も間違えず、内容に乏しかったからと、でもこれは辛すぎる。日本の総理もちゃんと演説ができるんだと思ってもらえただけで大成功だ。

クリントン大統領も終始ニコニコでしたね。脇で国務長官が渋い顔してましたが、「今回の会談は、日米首脳の顔合わせが目的だが、成果はあった。2人は、ウマが合うようだ。政治的背景も似ている。それに、米側は細川首相の決断を促す立場なのだから、規制緩和に抵抗している事務当局には厳しく当たるとしても、細川首相とはソフトな関係を保っておきたい。長く力強い支援を約束したのも冷静な計算あつてのことだ。」

それにひきかえ、アメリカのマスコミの「タイムングが悪かった。ボスニア問題や保険制度改革、ロシアの混乱はかすみながら、国連総会の演説もクリントン大統領と同じ日にしないで、一日ずらしてはどうか」との後も矢張りさばやに会うんですよ、この2人、だんだん対立が

厳しいものになるのでは？

「11月中旬のアジア太平洋経済協力関係会議(APEC)時の拡大首脳会議、米年早々の日米首脳会議が日程にはのぼっている。27日の会談ではウルグアイ・ラウンドの年内決着を確信したが、これはコメ輸入に踏み切る含みだ。細川政権には追い風が吹いている。また今年度の凶作で、米年の緊急輸入は必至の情勢。政策変更のチャンスだ。それに、ゼネコン疑惑で、許認可退治の世論ができ上がった。だから支持率も高い。これをテコに所得減税を先行させ、消費税引上げに成功すれば、財政基盤も固まる。政治改革法案が年内にまとまれば、解散、という切札も手に入る。議席を減らす自民党も社会党も、蛇ににらまれたカエルみだになつてしまふ。」

「官僚主導」も使い方が次第で役に立つ!?

細川政権がいままで続くかかってことなんですが、社会党がまたゴタゴタしては。相変わらずだね。国民はあきれいている。小選挙区では、連立与党の選挙協力が大切だが、社会党はどれだけ候補を立てられるか。勝てる候補はあまりないから、数を絞られる。それを嫌ってとび出せば、共産党などの議席に転落、どちらにせよ、解散的出直ししかならない。ピンばけの党内論議に明け暮れている。山花・赤松コンビがなつかしいよ。

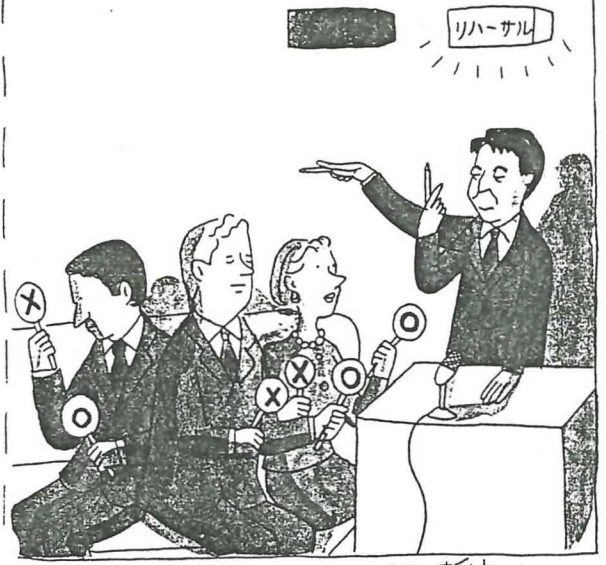
「自民党も、権力をはなれるとバラバラで元気がない。社会党と似てきました。政治改革で、自民党の根幹である後援会・派閥・年功序列が崩れるのが目に見えているから、党内は流動化してマダマ状態だ。」

細川政権は規制緩和が旗じるしなのに、このところ官僚主導が目立っていませんか？

それは仕方がない。日本新党なんて昨日までなかったんだから、政策立案能力がない。やはり中央官庁は、日本最高のシンクタンクだ。これまでは自民党が、おしいところをつまみ喰いしては政治などの弊害で利害を調整、法案にまとめたが、連立政権ではそれがオープンになった。官僚にいろいろプランを作らせ、それを国会で議論するスタイルは、官僚主導でもなんでもない。むしろいいことだと思います。」

消費税の引き上げも、また国民の知らないところで決まりそうで、心配です。許認可もこんなことでもなくなるんでしょうか？

「官僚の手口を知らない、許認可はなくせない。それには官僚を使うこと。中央官庁は入省年次で順番に辞めるシステムなので、下りせざるをえない。いまは財閥や業界に行っているのを、政党のスタッフに抱えたらどうだろう。政党の公費助成がそれができる。いい人材は、しばらくして代議士に立候補してもらってもいい。国民がそういう希望をはっきりさせれば、方法はあるんですよ。」



リハ-サル

国連総会の演説は大成功だった細川首相

いやあ、細川さんはよくやった。国連総

さて、採点は……

注 今年の凶作 9月30日に発表された、政府別のコメの作況指数(平年作=10)が全国平均で80、青森、岩手、宮城など主産地で30~40台と戦後最悪の凶作となった。今年産米の生産量は800万tを割り込み、150万t前後の供給不足となること必至だ。政府は冷害対策財源確保懇談会を開き、加工用の米20万tの緊急輸入を決め、国内のみで需給を均衡させ、国内で自給するといういわゆる「鎖国政策」の限界が露呈した形になった。今後、年内決着を目指すウルグアイ・ラウンド(ガットの多角的貿易交渉)の場での日本の立場は殊々迫られるであろう。

緊急ニュース

9月30日明らかになったところによると、クリントン大統領は、上院共和党のウィリアム・ロス議員に送った手紙の中で、「日本が国連安保理の常任理事国となれば、軍事行動を中心とした国際的な安全保障活動に積極的に加わることが期待される」と述べていることがわかった。この手紙は、日本が憲法上の制約を除去するまで、常任理事国入りを支援すべきでないとのロス議員の手紙に対する返事で、9月7日付のもの。日本政府はこれまでに「憲法上の制約」をたて、国連の軍事行動には参加できないという立場をとってきたが、クリントン大統領は、そういう特別扱いはできないという見解を明確に述べ、日本政府とのあいだに大きな認識ギャップのあることが明らかになった。

日本に軍事参加を期待するクリントン大統領の考えが、アメリカ政府の公式見解であるとなると、細川政権はきわめて苦しい立場に立たされよう。憲法上の憲法改正要求をつきつけられることになれば、社会党を一翼とする細川連立政権の空中分解は必至。外務省を中心に進められてきた常任理事国入りの運動も、根底から見直しを迫られることになる。

はしづめ・だいさぶろう 48 年神奈川生まれ。社会学者。東工大助教授。青号社から『小沢次郎』と『大学は変わります』を出しました

JO-CAZ-TV
キャスター

ひらの・ひろし 59年大阪生まれ。政治学者。学習院大大学院修了。愛知県立大講師。祝、プロスト、ワールドチャンピオン獲得。でも引退。

いよいよ東京も射程距離に！ 北朝鮮の「核」に今後どう対処する

DATA

来日したドイツエミグレーションは9月22日、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)のミサイル開発に対抗するため、戦域ミサイル防衛(TMD)計画を日米共同で進めるよう提議した。今年3月9日から行なわれた米韓合同軍事演習「チームスピリット」に合わせ、全土に「準戦時体制」を敷いた北朝鮮は、3月12日に核拡散防止条約(NPT)を脱退、秘密裏に核兵器を開発中との疑惑がいつそう深まっている。試射に成功したミサイル「労働1号」は射程1000kmで、日本の本州をほぼ射程に収めた。開発中の「労働2号」(射程1300km)が完成すれば、東京を核攻撃することも可能になる。わが国にはミサイル攻撃に対抗できる手段がなく、深刻な脅威にさらされることになった。

いっぽう北朝鮮経済は、石油不足で3年連続マイナス成長の工業、病虫害不作にあえぐ農業と、すでにダウン寸前の状態、各地で食糧暴動の発生も伝えられている。そんななか重備だけは増強、その大部分を38度線の国境沿いに展開しており、軍事的緊張が高まっている。金日成主席の後継者、金正日書記が、無謀な冒険に打って出る可能性も否定できず、日本も異刻に対応を考えるべき時がきた。

北朝鮮は、本気で戦争を決定したのだろうか？ 専門家の意見も分かれている。米近郊の原子力研究所のそばには、多数のクレターがある。プルトニウムを原料とする長崎型原爆の、起爆装置の爆発実験跡である。これらの証拠から、北朝鮮がすでに原爆を保有しているのは確実。いまはミサイルに積むため、小型化を進めている最中では、労働2号の開発に全力をあげる理由は何か。ズバリ、東京を攻撃目標にするためだ。北朝鮮は、核カードを最後の切り札に使って、必死の生き残りを図っている。

もちろん核攻撃を試みても、北朝鮮には何の利益もない。それどころか、クリントン大統領が板門店を警告したように、「北朝鮮という国家の終わり」になるだけだろう。金正日書記も、それはわかっているはず。北朝鮮が本気で目的とするのは、それを根拠にする。北朝鮮の目的は、アメリカ、日本との関係を改善して、どん底経済の建て直しを図ること。そのため最大限、核カードを利用しようとしているだけ、とみる。

だとしても、もっと危険なシナリオも描ける。核攻撃をめぐる米朝交渉がうまくなく決裂、アメリカは国連に働きかけて経済封鎖に出る。北朝鮮はこれを宣言報告と解釈し、日

本がこれに加われば、東京めがけ核ミサイルを発射、同時に38度線を越えて一挙に南進を図るといふものだ。

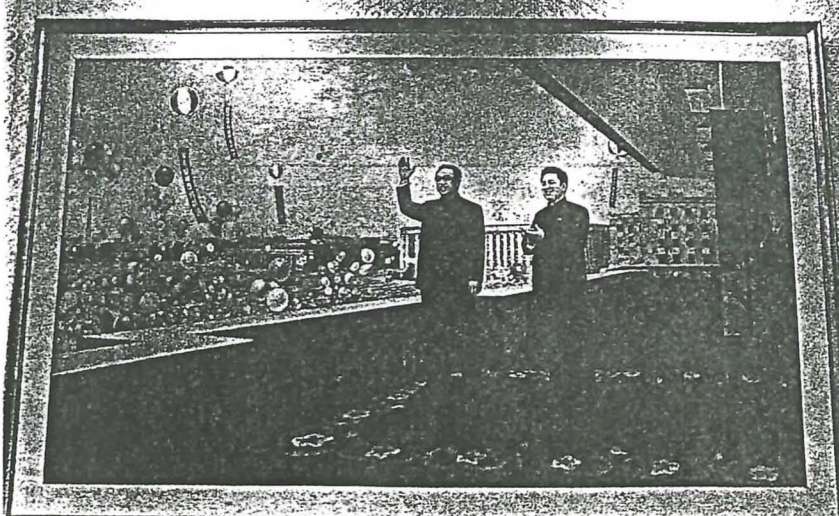
北朝鮮は「偉大な首領さま」金日成主席を神とあがめる神政国家。ふつうの国家とは違う。経済封鎖(ABC包囲網)で苦しめられた戦前の日本みたいに、「このまま屈伏するぐらいなら、死中に活を求めよう」と奇襲攻撃に出る可能性が高い。それ以外に、北朝鮮を国家として存続させる道がないからだ。これが本気説である。

アメリカへの報復と本攻撃もあり得る

情報統制と人権抑圧で人民ががんばりがらみにしている北朝鮮。いったん彼らが真実を知れば、憎しみが指導者に向けられ、ルーマニア型の崩壊をたどるといふ予想もある。

北朝鮮でいちはんおぞましいのは、人民が成分(出身階級)によって、進学や就職で差別待遇を受ける仕組みになっていること。スパイ組織が発達し報告も奨励されており、政府の悪口を言った家族が翌日から急に行方不明(炭坑送り)になるなどは、日常茶飯事だ。絶対服従を強制している独裁国家では、相手が服従しているからといって、信用ならない。指導者は疑心暗鬼となる。軍上層部の数名がクーデターを計画し、未遂で捕らえられ銃殺されるという事件が最近あった。専門家

父子の肖像画。彼らの思想・行動は、この画面の美しみとあまりにかけ離れている……(撮影/島原成)



の中には、金正日政権は金日成の死後3年、いや3日もたないだろうという人もいる。金正日書記の不思議のひとつは、公の場で一度も演説したことがないこと。人民は彼の肉声を知らないのだ。北朝鮮に拉致された映画監督の中相玉氏が持ち帰った録音テープから、早口で話があちこちに飛び、突飛な性格の彼の様子が浮かび上がる。まともな演説ひとつできないような人物らしい。

金正日書記への権力委譲がスムーズにいかないのは、金日成主席と結びつきの深い古参幹部と、金正日の側近グループとの対立が激化しているからだと思われる。軍のトップに座った金正日書記は、威信にかけても、核査察でアメリカに一步も譲れないのだ。

北朝鮮が、真珠湾を奇襲した日本の軍部のようないくつかの走らうとしている。アメリカがそう確信すれば、イスラエルがかつて

対応策として、軍事同盟に踏み切ること

北朝鮮の核開発が重大事件です。なぜこんな大問題があまり騒がれないんです？ 「3つ理由がある。第1に、日本人の平和ボケ。第2に、北の脅威はこれまで地上軍の南進に限られ、飛び道具のことは考えていなかった。夏耳に水で驚いているせい。第3に、この脅威に対抗するには米韓日の共同作戦(集団安全保障)とならざるを得ない。これがタブーであること。政府も革新勢力も、そのへんを大きな問題にしない。」

日本はパトリオット・ミサイルを買うことにならなんでしょうか？ 「買うしかないだろう。」

北朝鮮の核開発に備えての計画作りが急務だ

「もうひとつの可能性として、先制の空爆があるけど、それをやれば確実にミサイルが飛んでくる。すると一夜で、日本の世論は激変するでしょう。これも危険。」

北朝鮮が、核カードをちらつかせている目的がよくわからないけど、いずれにせよ、このように許しやいやいけなと思っただけで、下手に妥協すると、悪い前例になる。

「それがパワー・ポリテイクスの考えだ。」

米年のチーム・スピリットが中止になるという情報もありますが、なぜでしょう？

「今年もそうだったけど、演習に合わせて北も動員をかけた。国境沿いに軍隊を集結させるでしょう。それが北に南進のきっかけを与えるのを恐れているのではない。」

なるほどねえ。ところで、北朝鮮が民主化する可能性はあるのでしょうか？ 親米政権が出てきたら援助をするという約束しておくと、北の民主化をやがせるのは？

「そう簡単じゃないと思う。情報統制と強行路線で固まっているから、ルーマニアよりもっとひどいからで転覆する可能性もある。それを想定して、いまの内から(北朝鮮再建計画)を作っておかないと駄目だね。もちろん日本一国だけでは無理だから、アメリカや韓国、中国、ロシアも巻き込んで、国際支援会議を開くべきだ。そのプランを急いで用意しておかなければいけない。」

でも日本のリーダーも国民も、全然切迫感がないし、まったくそんなこと考えてもいない。日本は何をすればいいんですか？

「そうだなあ。まず、アメリカの話をよく聞くこと。そのうえで、言われたことをちゃんとやること。これに付き合おう。」

「やれやれ、だらしのない国だなあ。」

「そう言わないで。カンボジアのPKOも成功したし、少しずつ前進しているんだから。」

はしづめ・だいさぶろう '48年神奈川県生まれ。社会学者。東工大助教授。天津社会科学院の王輝院長と「中央公論」で対談しました。



「わーい！ありがとう！」

この脅威に対抗するには米韓日の共同作戦(集団安全保障)とならざるを得ない。これがタブーであること。政府も革新勢力も、そのへんを大きな問題にしない。」

日本はパトリオット・ミサイルを買うことにならなんでしょうか？ 「買うしかないだろう。」

緊急ニュース

サウジアラビアの新聞はイランが10月末南東部の砂漠で、ミサイル「労働2号」の発射実験を行なうと報じた。準備のため北朝鮮の軍事視察団がイランを訪問中という。一方アメリカは高官を相次いで中国に派遣、関係改善につとめている。その裏には、北朝鮮経済制裁に中国の協力が不可欠である事情が控えているとみられる。いっぽう中国外務省は、江沢民総書記が11月アメリカで韓国の金泳三大統領と会談すると発表した。同日は両国の外相会談も予定されており、北の核査察拒否問題が話題になるものとみられる。

「北朝鮮に圧力をかけるには、経済封鎖以外にないのでしょうか。」

「戦争以外の手段は、それしかない。ただし中国が参加しないなら、封鎖しても無意味。中国は北の核開発も好まないが、封鎖に参加しても利益なしと思っている。それをなだめるため、アメリカがいま苦勞しているところだ。」

「経済制裁には日本も加わらないとまずいでしょうねえ。」

「日本には在日朝鮮人の人々がいるから、経済封鎖で新潟～北朝鮮のフェリーを停めたりすると、国内にも異論が起こるだろう。いまのうちから議論しておくべきことは多い。」

ひらの・ひろし '59年大阪生まれ。政治学者。学習院大学大学院修了。愛知県立大講師。オーストラリアからの交換留学生のクラスで講義をします。

政治、経済、今までのツケが まわり、揺れに揺れる日本国内

「激動」の90年代をわかりやすく解説してきた「ニューアスの時間」です。好評の当ペーシも次々号からリニューアルです。そこで今まで担当いただいた橋爪、平野両先生に3年間を振り返っていただきました。今回は国内編。



橋爪先生(左)、平野先生(右)、3年間お疲れさまでした

● 小沢中心に2大政党化 ついでにきんぎょな政界

橋爪 細川連立政権の誕生、読んでましたか？
 平野 いやあ、予想つかなかったですね。
 橋爪 私も全然予想しませんでした。

でも考えてみると、中選挙区制のもと多党化する傾向があるから、自社両党対決の55年体制とはミスマッチだったんですね。ですから、自民党には派閥という党中央ができた。野党は民社党や公明党ができて多党化しちやうた。そこで、自民党の派閥が一つ外へ出れば、非自民政権ができる条件はずっとあったんで。

平 世論調査でも、自民党や社会党に投票してきた人で、積極的に支持というのは少ないです。そういう層が、今度は新党にすいぶん流れた。

橋 細川政権の高支持率はどう解釈しますか？
 平 冷戦時代は、官僚も財界も自民党でなければと思っていたから分岐できなかったけど、最近では新党、日本新党でもいいやという空気変わった。消費税の引き上げやコメ開放に、この不景気、自民党がたまたま内閣がいくつあっても足りないのが、細川政権だととなく通ってしまおうということのほうが、むしろ心配。

● コメ不況、この問題 どう対処しようか

橋 今度の不況は重症の肺炎です。わたしは何回か本誌で予測を誤りました。ごめんない。

平 今回の不況は好況の波に、はじけたバブルが重なった複合不況。だけど、日本の産業そのものから活力が失せた可能性もある。国際競争力が弱って、雇用も危機的。賃金の安い外国に産業が出て、空っぽ化が進めば、輸出でこれまでやってきた日本経済の先行き不安は深刻です。

橋 アジアNIEESが成長していた頃は、日本と補完的だからまあよかったけど、中国の成長が本格化してきた。このまま国際分業が進むと、日本の雇場所がなくなる。この恐れが、投資を控えている企業心理の冷え込みの根にあります。消費者も不安を抱えています。年金はパンクしそうだし、ローンで買った土地やマンションも値下がりして老後が不安になった。そこでとにかく貯金。となる。消費が冷え込むのも当然の面です。

平 規制を廃止し、経済を自由化しようという意見もありますが、どうですか？
 橋 景気への即効性をいうならケインズ政策(公共事業)だけ、出番がむずかしい。金利は下げすぎ、むしろ上げたいほうがいっぱいいる。

1991-93 国内

- '91年1月 イトマンの河村社長解任。株、不動産、絵画、ゴルフ会員権の「投機4点セット」が踊る。企業のマネーゲームが露呈した。
- '91年4月 統一地方選が行われた。東京都知事選では鈴木俊一氏が4選
- '91年6月 前年の株価急落の際、野村証券が大口顧客の損失160億円の穴埋めをしていたことが発覚。これを機に証券業界の不祥事が次々と明るみに出た。
- '92年2月 東京佐川急便の渡辺前社長が総額4900億円に上る債務保証や融資を巡って、特別背任罪の容疑で逮捕された。これにより、政治家への献金疑惑が吹き出し、後には竹下元首相と暴力団福川会の癒着も発覚した。
- '92年8月 佐川急便からの5億円献金の受領を認め、金丸氏が自民党副総裁を辞任。10月には議員を辞職した。
- '93年3月 金丸前自民党副総裁が脱税の容疑で逮捕・起訴された。
- '93年6月 大手ゼネコンのヤマ献金疑惑で、石井仙台市長が逮捕された。これを機にゼネコン疑惑が表面化していくことに。
- 皇太子さまと雅子さま結婚の儀が行われた。
- '93年8月 宮沢内閣不信任案可決を受けて行われた衆議院総選挙の結果、細川連立政権が誕生。政治改革法案、コメの最低量輸入、景気対策など、大問題が山積。これにどう対処していくか細川氏の力量が目ざされている。

橋 総評が解体したあたりから、実は社会党は根がなかったんですね。もう労働対立・保守対決の時代ではない。国民心理が大きく変化したのだと思います。でも、細川政権のキャッチフレーズは「フアジー」でしょ。何だかよくわからない。フアジーだから人気があるというわけでもない。平 いや、一つ対立軸ができてきたんじゃないかという気がする。一方は、外国に開放的である意味で大国主義ですが、日本の伝統を重んじなければならぬという立場。もう一方は、国際的にディフェンシブ(ひっこみ思案)で、政治小国でいいと思ってるのが、西欧近代をそれなりに信仰している立場。この軸を従来の保守の軸と

クロスさせてみると、自民党の保守本流は政治小国志向だった。社会党もそう。新党は保守派だけれども大国志向。革新は福祉重視で大国志向というの、まだない。細川政権はまん中であらうろしているからフアジーだ。社会党と新党は正反対だから、この連立は長続きするはずはないです。社会党は土井たか子副総裁として残るけど、大部分は自由化で、日本新党に行く人、自民改革派と結ぶ人、ばらばらになっていくのでは？
 橋 護憲社会党は共産党と一緒に、家元化していくしかないなあ。いまの話、とても面白かったけど、今後政局の一端に小沢さんが座ることははっきりしていると思うんです。もう一方が誰なのか

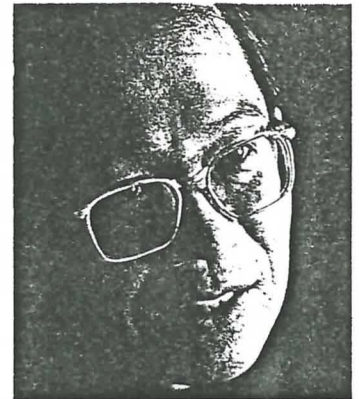
田舎に道路を造っても経済全体への波及効果は乏しいから、これからは都市再開発だと思っただけの下がった今がチャンスだ。都市の土地売買を都市計画で規制してバブル再現を防ぎつつ、山の手線周辺で高層集合住宅を建設、交通網を整備する。家が広くなれば消費は伸びる。それに、研究開発投資も地道に進めておくべきです。
 平 日本人が都市に集中するのはやむをえない？
 橋 うちも集中してしまっただけで、いったん日本の農村はどうなるのか。企業化するしかないんですか？
 橋 日本中、猫の額の自作農、というのはもう無理だ。農地を集中し企業化するしかない。そこで地域社会をゼロから再建する大計画を、急いで立てるべきなんです。農業人口は激減する。残った人びとが地域でやっていく、シビルミニマムを確保できる計画が必要だ。
 平 野放しの自由化で日本はだめですか？
 橋 コメの関税化するための時間をもらっているわけですね。結局自由競争のだけど、そのスタートラインに立てるまで準備がいる。その間に補助金を整理したり、やることをやらないと。

を果たしていくべきなのか。PKOみたいな国連協力も求められるでしょう。APEC(アジア太平洋経済開発会議)などの場を通じて、アジアでの指導力を強化することも求められる。国連の常任理事国になつたらどうするの。いままでは日本はアメリカの言うままですが、これからはアジア各国からの突き上げも強まってくるでしょうから、どちらの立場に立つのかしつかりしないよ。
 橋 まず、いまのアメリカの覇権(新世界秩序)が1年で長く続くよう、経済を止められぬ面面でアメリカに協力していくのが、日本の利益です。でもこの体制は永遠に続くわけではない。やがてアメリカもダウンする。そのときになって慌てないよう、次の枠組みも考えておく。この両面の備えを大事にすべきです。これからは、世界のGNPの半分以上が太平洋地域に集中していくわけですから。そうすると、米中日の三角ブロックが世界のなかで大きな役割を果たすことになるだろう。日本は軍事を米中にまかせることに深入りせず、そのほかの領域で、この両面のバランスをとるための努力に徹するのがベストでしょう。
 平 問題は日本が、それが得意なかどうかです。ね。そもそも国際的な信頼がなければ、何もできません。その点、日本の過去に対する細川内閣のスタンスは、評価できると思うわけです。
 橋 それはわたしもまったく同感です。

はしづめ・だいさぶろう '48年神奈川県生まれ。社会学者。東工大助教授。別冊宝島EX「上海快楽読本」で中国のポップスについて書きました
JO-CAZ-TV
 キャスター
 ひらのひろし '59年大阪生まれ。政治学者。学習院大学大学院修了。愛知県立大講師。定期検診の結果異常なし。肥満度88%。健康がなにより

「日本中、猫の額の自作農ではもう無理。企業化していくしかない」

はつきりしない。小沢さんと細川さんで2大政党を作ればすつきりするけど、行き場のない自民党・守田派や社会党派が残ってキヤスター・ポードを握り、なんの改革もできない。だから大連合でやっているんですけど、彼らも巻き込むという大グループの作り方はないかなあ。
 平 イギリスはすでに階級社会で、アッパーミドルと労働者は全然別の文化に属している。最初から道は2本なんです。アメリカは無敵に道があるのを、マイノリティと福祉重視の民主党対競争重視の共和党みだりに分けてる。いっぽう日本で、わりと長持ちしようとする大グループの応援団があるかという、ないわけですよ。
 橋 そんなものなくても、とにかく政権交代ができればいい。戦前の政友会や民政党も、中身に違いはなくて、宝塚の星組、月組みたいなものだった。いっそのこと、小沢さんの好き嫌いで2つに分かれたらどうですか？
 平 今度の小選挙区制だと、地元利害に密着した議員ばかり出てきて、果たして政党本位の政治になるかどうか心配です。
 橋 これは、地方財政の基盤がなくて公共事業に依存する土建屋政治だから、細川さんの言っているみたいに、地方分権を進めるべきだ。
 平 財源を地方に移すという言い方はないけれど、地方で何かやるのにすぐ東京の広告代理店あたり



撮影/山村隆彦

前回の国内編に引き続き、この3年間で国際的にこのコーナーが見てきたことをおさらいします。ソ連邦の崩壊と始まった東西冷戦の終結が、世界にどのような影響を与えたのか……。なお、次回からはリニューアルしておくりします。

冷戦状態が終わって、ますます混沌となっていく世界情勢

「ニュースの時間です」 84



冷戦が終わって一体何が始まったのか?

——今回は国際編です。冷戦状態からソ連の崩壊、アメリカの大統領選挙やEC統合などいろいろなありましたが、
橋爪 連戦を始めたあたりから、本当に激動の時代で、冷戦の前線と新世界秩序の登場というのをずっとウォッチして来たことになるんですけど、まず冷戦期とポスト冷戦期とのいちはばんの違いは何なのか。
平野 そうですね。冷戦の間は米ソが世界中で力比べをしていた。で、米ソ核戦争の危機が叫ばれたりしたけれど、その半面、世界情勢はある意味で安定していた。つまり、冷戦という世界が2つに割れているというイメージだけど、じつは反対に「冷戦システム」という1つのシステムが覆われて、良くも悪くも固定されていた。そのシステムが消滅して力の真空地帯がたくさん生まれた。そこに出てきたのが民族主義や宗教に関連した紛争ですね。連戦でも旧ユーゴやソマリアやアフガンなどいくつか取り上げましたが……。
橋爪 わたしは生まれた時から冷戦で、平野さんもうさうだと思えますけど、それが当たり前だと思

ってました。それで冷戦が続いているときには、一般に、これは戦争の一種で、平和に反することだと思われていた。だけど、いざ冷戦が終わってみると、紛争の続発で戦争だらけ。だから冷戦というものは、むしろある意味で平和をずっと続けている平和的システムだったなと思うのと、それから冷戦は異常な出来事で、紛争だらけのポスト冷戦のほうが世界史の年表をひっくり返してみると、むしろ普通だということ。みんな気づいたような気がするんですけど……。
平野 ただ、そこで「唯一の超大国」のアメリカが世界の警察官になれるかという、もうさうもいかない。ソマリアなんかでも失敗してます。結局、

旧ソ連やユーゴなど、紛争の解決は?

橋爪 続発する紛争にもいろいろなパターンがあります。旧ソ連諸国やユーゴでは、新しく民族国家を作るにあたって、これまで社会主義の中では存在しないといわれてきた民族対立が蒸し返された。パレスチナ問題などは宗教がベースにあると

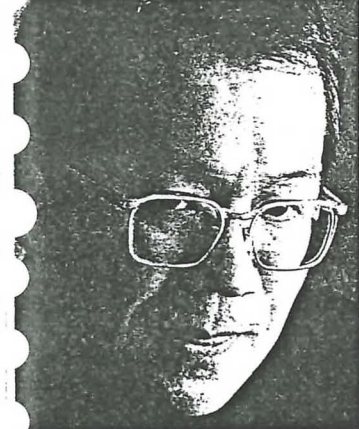
この、旧植民地の独立問題のような感じもします。それから南アフリカであれば、人種差別とそれへの抵抗組織との主導権争い。あとアフリカでは部族紛争レベルの問題もたくさんあります。あえて共通点をあげれば、過去のこじれたいきつを整理しようとして、新しい関係を再生産していくという点かな。
平野 冷戦で「凍結」されていたものが「解冻」されちゃったみたいな。だから、個々の紛争にオーダー・メイドの解決法を考えていかなければだめなんじゃないかな。
橋爪 だけど過去にいろいろな不利を被ったり、先祖を殺されたり財産を奪われたりした人たちが「正義」の名のもとに立ち上がるといっているのは正しい面もあるわけで、さうすると、これ困っちゃうんです。オーダー・メイドの解決ってどういうふうになるんですか。
平野 いや……難しいですね。「正義」の問題が出てくる。いま、普遍的な正義を主張することがほとんど不可能な状況で……。例えば、戦争より平和のほうがいいから……という人がいる一方で、「まちがった平和に甘んじているようは闘うべきだ」と心底思っている人たちがいる。これはやっぱり時間任せるといえない場合もあるでしょうね。
——アジアの問題では中国を何回か取り上げまし

たね。
橋爪 特に経済の面でいえば中国の社会主義市場経済というやつ、80年代を通じて10%前後のものすごい成長を続けています。問題はポスト鄧小平なんですけど、多くの専門家に聞くと、逆もどりはないと聞いていますね。
平野 ただ中国の存在感の大きさが、海洋資源の問題なども含めて、日本やASEAN諸国に警戒感を抱かせる部分がありますね。それに経済発展のスピードが地域によってバラバラだし、そのうち中国そのものがバラバラになってしまうようなことは、
橋爪 中国はソ連解体のプロセスを研究して来てるから、共産党の支配によって統一を保障しつつ、経済的には開放していく。そのためには日本やアメリカとの良い関係を築いていくという絶妙なバランス感覚で対応するでしょう。
平野 解体したソ連のほうじゃ、核を手放さないとしないウクライナとか、中央アジアのイスラム系諸国とか、擾乱要因が増えました。ロシアにも再分裂の可能性があるし、極右の民族主義者の躍進なども不気味ですね。ECの統合も、旧ソ連・東欧諸国の加入問題をどう話かやこしくなってます

たし。
橋爪 アジアに話を戻すと、北朝鮮の問題を中心として朝鮮半島も厳しい状況ですね。北朝鮮の未来を明かすと思ってる人はあまりいない。原爆を持つているとか、労働1号ミサイルの改良型は東京まで届くとか言われていますが、本当に危険でしょうか？
平野 基本的には危険でしょう。まあ、今すぐ戦争が起るとかいうことはないと思いますが、近い将来、金日成の後継者の時代になった時に軍をコントロールできるかどうか。それと北朝鮮のリーダーが我々と同じような意思決定の基準を持っているかどうか。いまいっぺんわからないですからね。
橋爪 北朝鮮から逃げた軍人のインタビューなんかを見ると、国が苦しくて外国のほうに進んでいるという話は薄々わかっているとか、もういつ戦争があってもいいように準備をしているとか言っていましたね。半分ぐらいは昭和16年の日本みたいな感じ。経済封鎖なんだから、かえって危ないんじゃないかな。
平野 朝鮮半島を囲む形のロシア、中国、日本、それにアメリカの4カ国で、なんとか平和的統一に向けてのソフト・ランディングをサポートしないと、戦禍が起きたり大規模な難民が出たりしたら、とにかく大変ですね。

——冷戦の終結と民族主義といった問題が出ましたが、それ以外で今後の国際関係の重要な軸としては何？
平野 ひとは経済と貿易がより自由化していくのか、それともブロック化してしまうのか。それから、特に、今年、地球サミットが開かれたように環境問題などを含めた様々な形での南北問題が深刻化してくるんじゃないかな。
橋爪 南北問題も「置き去りの構図」というのがかなりはつきりしていると思うんです。EC、APEC、NATOといった先進国のグループ作りが先行しちゃっていて、第三世界はずいぶんパワーが落ちたという気がするんですけど、逆にさうなると、イラクとか北朝鮮みたいに、原爆で脅かすしかないと思えるような国が出てくるんじゃないか……。
平野 それにしても、日本でもF10問題とか、コメの開放とか、失業率の増加とか、苦しい選択を迫られる問題がたくさん出てきてますが、考えようによっては、他国の苦勞をその人たちの身になって考えるためのいいチャンスじゃないですか？
橋爪 実際、やっとなのへの感覚も育ってきたという気がしますね。

「アメリカは『世界の警察官』には、なれない」



撮影/山村隆彦

ひらの・ひろし 59年大阪生まれ。政治学者。学習院大学大学院修了。愛知県立大講師。あつという間の3年間でした。
はしづめ・だいさぶろう 48年神奈川県生まれ。社会学者。東工大助教授。八王子セミナーハウスでの「国際学生シンポジウム」に参加しました。
JO-CAZ-TV
キャスター